

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1995年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 18(2)
Issue Date	1997-02-10
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9314
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

〈資料〉

日本・ラテンアメリカ関係日誌—1995年—

月日	国名	記 事
1. 3	メキシコ	国際サッカー連盟（FIFA）は、2002年のワールドカップ決勝大会の候補地として韓国、日本、メキシコが確定したと発表。（MN）
1. 4	メキシコ	同政府、邦銀4行（東京、住友、富士、日本興業銀行）に総額12億ドル程度の金融支援を打診。（ME）
1. 5	メキシコ	メキシコ日産、ペソ大幅下落で部品輸入などに為替差損が生じたため、同日より自動車の販売価格の10%引上げに踏み切る。（NK）
1. 5	エクアドル・ペルー	同日の新聞報道によると、日本輸出入銀行は1月にエクアドル向けに世界銀行との協調融資を、また4月にはペルーのインフラ整備のため単独融資を行う。それぞれ2億ドル、1億5千万ドル規模のもの。最近の景気回復による資金需要に対応するもの。（NK）
1. 6	パナマ	日本の放射能廃棄物の海上輸送に反対する日本人女性3人がパナマ市で開かれた集会に参加、反核を訴える。10日には同国の環境保護団体と日本大使館の前で抗議デモ。（MN）
1. 6	メキシコ	同政府、ニューヨークで日本人投資家を対象に、同国の緊急経済政策に関する説明会を開催。（NE）
1. 6	コロンビア	同日の新聞報道によると、住友金属工業、川崎製鉄、新日本製鉄はそれぞれ商事会社と組んで、同国にパイプライン用の鋼管150億円を輸出する。95年3月から96年初めにかけて相手先のオレダクト・セントラル社に納入。（NK）
1. 9	メキシコ	来日したグリア外相、河野外相と会談。3日にメキシコ政府が示した緊急経済政策を説明するとともに、通貨危機打開にむけ日本政府の協力を求める。（MN）
1. 9	メキシコ	グリア外相、日本銀行の福井副総裁ならびに邦銀の代表らと会談。日本銀行は10億ドル程度の支援を表明するものの、邦銀は即答を避けた模様。（YU, AB, NK, NE, MN）
1. 9	メキシコ	中曽根元首相、第三回アジア太平洋議員フォーラム総会（13～14日）出席のため、アカプルコに向け出発。（YU, AB）
1. 10	メキシコ	来日中のグリア外相、都市銀行など14行の担当者を大使館に招き、

		同国の民間銀行の経営に問題がないことを強調。(NK)
1. 10	中南米	外務省人事。大久保基ニューヨーク領事をジャマイカ大使に、伊藤昌輝マイアミ総領事をリオデジャネイロ総領事に、また佐藤悟メキシコ大使館参事官を中南米第一課長にそれぞれ起用。(YE, NK)
1. 10	ハイチ	河野外相、来日中のクリストファー米国务長官との会談で、ハイチ民主化支援の目的で1000万ドルの緊急援助を行う旨、表明。(NK)
1. 11	メキシコ	米クリントン大統領と村山首相、首脳会談の中で、メキシコの通貨危機問題について、日米が協力することを約束。(YE, MN)
1. 12	メキシコ	同政府、邦銀4行(東京、住友、富士、日本興業銀行)に対して、総額8億ドルの融資を正式に要請。邦銀側は結論を先送りに。(YU, AH, NE, MN)
1. 13	英領ケイマン諸島	日本生命保険、現地法人NLIインターナショナル・ファンド・ケイマンを3月までに解散することを決定。(NK)
1. 13	メキシコ	同国訪問中の中曽根元首相、アカプルコ市内のホテルでセディーヨ大統領と会談。通貨危機が一時的なものであることで一致。(NE)
1. 15	キューバ	ラテン音楽関係者が「キューバの子供たちに学用品を送る会」を設立。第一回目のチャリティコンサートを東京・新宿で開催。(AE)
1. 17	メキシコ	同日付けの現地各紙、兵庫県南部地震をそろって一面で報道。また18日深夜にはセディーヨ大統領から村山首相に見舞い電報が届く。(NE)
1. 17	ハイチ	政府、国連開発計画(UNDP)や世界保健機関(WHO)などを通し、民政移管後も経済状態が不安定な同国に6億円の緊急援助を行うことを決定。(YE)
1. 19	ブラジル	同日付けのエスタード・デ・サンパウロ紙、兵庫県南部地震について伝える一方、地震による出稼ぎ日系人の本国送金への影響を懸念する記事を掲載。(YU, AH)
1. 19	エクアドル	日本石油は、同国北部の油田地帯で石油・天然ガスの開発を行うことでエクアドル政府と合意。今後米国や韓国の石油会社と組んで探鉱・開発を行う。(NS)
1. 20	中南米	外務省、兵庫県南部地震への見舞いメッセージが同日までに、中南米26か国を含む139の国と地域から届いたことを発表。(NK)
1. 20	ブラジル	サッカーのジーコ選手、故郷リオデジャネイロにサッカースクール(6才から16才までの少年少女を対象)を開校。海外からは年間600人余りの生徒が入学する予定で、うち半数は日本の子供達。(AH)
1. 20	アルゼンチン	タンゴの名門オルランド・トリポディ楽団、神奈川県横須賀市を皮

1. 20	メキシコ	切りに今月いっぱい全国ツアーを行う。日本公演は12年ぶり。(YE) 日産自動車、現地法人メキシコ日産の操業を一時停止すると発表。 ペソ下落による販売不振などが原因。(再開は30日)(YU, NH, NS)
1. 24	ブラジル	兵庫県南部地震に巻き込まれた出稼ぎ日系人のうち36人が帰国。現 地での救援活動など行政側の対応のまずさを批判。(YE, AH)
1. 24	メキシコ	同政府から要請を受けていた邦銀4行による支援融資額は最終的に 4億ドルになることがほぼ決定。(NK)
1. 25	ドミニカ・バハマ	外務省人事。命帰国。石垣泰司ドミニカ兼バハマ大使。(YU)
1. 25	キューバ	ロバイナ外相、来日。その後中国、北朝鮮などアジア5か国を歴訪。 (MN)
1. 27	ブラジル	リオデジャネイロ市は兵庫県南部地震の被災者支援のため、サッカ ー選手のジーコ、ロマリオ、ペレらが参加する慈善試合の開催を神 戸市に申し入れ。(AH)
2. 1	中南米	米州開発銀行(IDB)、インターネットによる中南米諸国の経済 情報や研究報告などの提供サービスを開始。4月には民間企業を対 象とした援助案件の情報提供も開始する予定。(NS)
2. 1	エクアドル	日本移動通信(IDC)、同国への国際電話サービスを開始。(NS)
2. 2	メキシコ	同国で二輪車生産拠点をもつ唯一の日本メーカー、本田技研工業は 1月に二輪車価格を11~12%値上げしたと発表。通貨危機の影響で 日本からの部品供給コストが上がったことへの対応。(NK)
2. 8	ホンジュラス	メディナ環境相、日本の放射性廃棄物を積んだ船(パシフィック・ ピンテール)がパナマ運河と中米沿岸を通過することに反対する意 思を表明。(AE)
2. 9	メキシコ	日立製作所、カナダのテレビ工場を今年7月に閉鎖し、同国向けの 生産をメキシコ工場に集約すると発表。北米自由貿易協定(NAFTA) 締結でカナダでの生産コストが割高になったことへの対応。(NE)
2. 15	メキシコ	日産自動車、同国でのエンジン生産部門を縮小。米テネシー州に新 しいエンジン工場を設立すると発表。通貨危機に伴う経営合理化の 一部で、これによりメキシコでのエンジン生産台数は年間30万台程 度になる見込み。(NE, NS)
2. 20	中南米	東京銀行、中南米向けの債券売買業務を行う米現地法人2社(BOT セキュリティーズとBOTラテンアメリカ社)を吸収合併すると 発表。今後はBOTセキュリティーズとして業務を行う。(NK)
2. 22	ハイチ	昨年10月に民政移管した同国から文民警察訓練生8人が来日。日本 の警察行政などの研修の一環として、東京・駒込の上富士前交番を

		見学。(NE)
2. 24	コロンビア	大手スーパーの西友、コロンビア産の豆100%によるプライベートブランド・コーヒーの販売を開始。国立コーヒー生産者連合会(FNC)に豆の調達から加工、商品包装までを委託したことで、価格はナショナルブランドの約半値。(NK)
2. 24	メキシコ	「インディオの子供たちの極彩色壁画展」が東京・新宿で開催(3月5日まで)。(AH, AE)
2. 24	ウルグアイ	政府、同日の閣議で、来月1日の大統領就任式典に社会党の伊藤元運輸相を特派大使として派遣することに決定。(NK, ME)
2. 25	ブラジル	同外務省、フランスで処理された日本の核廃棄物輸送船パシフィック・ピンテールがブラジル領海に入ることを許可しないとの声明を発表。(AH)
2. 28	メキシコ	東京銀行、3月1日から、邦銀としては初の現地法人「メキシコ東京銀行」を開設すると発表。(NK)
3. 8	ブラジル	昨年5月におきた在ベレン日本総領事館の女性領事(当時52歳)殺害事件の被告に対し、パラ州地裁は禁固26年の判決。(YE, AE, NE)
3. 8	パラグアイ・ドミニカ	外務省人事。佐々木高久リオデジャネイロ総領事をパラグアイ大使に、中村実宏前東京都外務長をドミニカ大使にそれぞれ起用。(YE, ME)
3. 10	アルゼンチン	同外務省、日本に向け航行中の高レベル放射性廃棄物輸送船パシフィック・ピンテールの領海通過を許可せずとの声明を発表。(NK, MN)
3. 11	中南米	ウルグアイのイトゥリア国防相、同国とブラジル、アルゼンチンの海軍は放射性廃棄物を積んだ英国の輸送船パシフィック・ピンテールの領海内通過を阻止する作戦を共同で計画中であることを表明。14日に同輸送船はウルグアイ沖を南進中との報道。(MN)
3. 13	中南米	米州開発銀行(IDB)、日本政府の資金供与により、中南米に対するコンサルティング業務を支援する基金を設立したと発表。(NE)
3. 15	ジャマイカ	「レゲエサンスブラッシュ 阪神大震災被災者支援コンサート」、川崎、大阪、名古屋で開催。同大使館の要請で急きょ企画されたもので、ベテラン歌手のフレディ・マクレガーなどレゲエ歌手が参加。(～17日)。(AE)
3. 23	メキシコ	邦銀4行を含む日米欧の民間銀行に求められていた総額30億ドルの融資に対して同政府は文書を通して辞退を申し入れ。(MN)
3. 23	アルゼンチン	同政府、通貨危機回避のため、日本輸出入銀行と民間銀行6行に対して、総額15億ドルの緊急融資を要請していたことが同日明らかに

3. 23	コロンビア	される。これに関連してカバロ経済相が月末に訪日予定。(NE) サンペール大統領、ポゴダ市内のホテルで記者会見に応じ、同国経済の健全ぶりを強調するとともに、発見されてまもないクシアナ原油の対日輸出に意欲的な姿勢を見せる。(NK)
3. 24	チリ	現地からの報道では、英国の輸送船パシフィック・ピンテール、同日現在、チリ沖を北上中。(ME)
3. 29	メキシコ	富士銀行、東京銀行に続き、現地法人「メキシコ富士銀行」を開設、融資業務を開始する。(NK)
3. 29	ハイチ	同政府と日本政府の対ハイチ経済協力調査団、従来の人道援助中心の援助からインフラなど社会基盤の整備中心のものに転換することで同日までに合意。(AE)
3. 30	アルゼンチン	海外経済協力基金(OECF)と同政府、初の円借款契約を調印。レコンキスタ川流域環境改善事業のための資金供与を行う。(YU)
3. 31	ペルー	政府、4月9日に実施される大統領選挙に田中高・中部大学助教授を含む監視団を派遣することに決定。(YU, MN)
3. 31	アルゼンチン	来日中のカバロ経済相、都内で記者会見に応じ、日本を含め6か国に合計12億ドルの支援融資を要請したことを発表。(NK)
4. 5	ペルー	同日未明、静岡県富士市の県道を横断していたペルー国籍の男性2人、無免許の車にはねられ死亡。(YE)
4. 10	ペルー	政府、フジモリ大統領の再選を受け、91年以来停止していた青年海外協力隊の派遣など人的援助を再開させる方向で検討する旨を表明。(MN)
4. 10	メキシコ	日産自動車系プレス部品会社の山川工業は同国に生産・販売子会社を設立したことを発表。7月中旬からメキシコ日産に部品を納入する。(NK, NS)
4. 17	ブラジル	農林省森林総合研究所、政府開発援助(ODA)の一環として、ブラジル国立アマゾン研究所と協力して、熱帯雨林保全に関するプロジェクトを行うことを決定。同日正式に合意書を交換する。(NK)
4. 17	ブラジル	サッカーの世界ユース選手権(カタールで開催)、日本は準々決勝で同国と対戦、1-2で惜敗。(YU, AH)
4. 21	中南米	フォルクローレ演奏家の瀬木貴将、東京・渋谷でコンサート。(YE)
4. 21	ペルー	警視庁と昭島署、来日したペルー人のパスポートを延べ100件以上偽造し、報酬を得ていた自称日系ペルー人の男女4人グループを摘発。(YU, AE)
4. 26	コロンビア	東京税関成田支署と千葉県警新東京空港署、同国籍の男女2人とス

4. 26	ペ ル ー	ペイン国籍の男性を麻薬取締法違反の容疑で逮捕。押収したコカイン約10キロ（末端価格約7億円）は空港開港以来最高。（YE） 政府、同国に対して5億5200万円を上限とする無償資金援助を行うことを発表。（MN）
4. 27	キ ュ ー バ	日本野球連盟、今シーズン、社会人野球の4つの企業チームに所属する同国選手9人を発表。うち5選手が初来日となる。（MN）
5. 5	パ ナ マ	同政府と東京銀行を含む日米欧民間銀行団、同国の債務削減について基本合意に達したことを発表。債務元本約20億ドルと87年から95年の延滞金利約15億ドルをプレイディ提案に基づき削減。（MN）
5. 12	ハ イ チ	発展途上国の民主化促進のために政府開発援助（ODA）を活用する政府の新政策の第一適用例として、同国で6月下旬に行われる議会・地方選挙に総額50万4千ドルの無償援助を閣議で決定。（NE）
5. 17	メ キ シ コ	日本ビクター、同国にテレビ工場を設立すると発表。南米・北米向けのテレビ生産を行う。96年春に生産開始予定。（AH）
5. 22	コ ス タ リ カ	ノーベル平和賞受賞者のアリアス元大統領、「国連と日本の役割」をテーマに講演（読売新聞社と大和総研による共催）。（YU）
5. 24	チ リ	港区高輪で、同女流伝統工芸作家の作品を紹介する「伝統工芸刺しゅう画展」が開催。（31日まで）（MN）
5. 24	キ ュ ー バ	アマチュア野球世界一のキューバチームを招いた「ベースボール・ウィーク・イン・ジャパン野球大会」が開催。同チームは圧倒的強さを見せ、3戦全勝。（28日まで）（MN）
5. 26	ハ イ チ	外務省人事。兼ハイチ大使に中村美宏ドミニカ共和国大使を任命。（ME）
5. 27	キ ュ ー バ	神戸で開かれた野球の国際親善試合、同国代表チームは7-4で全日本チームに勝利。（AH）
5. 28	エ ク ア ド ル	サッカーのキリン・カップ95最終戦、日本代表チームはエクアドル代表チームに3-0で快勝。4年振り2回目の優勝。（AH）
5. 30	中 南 米	第三回リオ・グループ・トロイカ外相会合が東京で開催。リオ・グループからはエクアドル、ブラジル、ボリビア各外相が参加。（YU, NK）
5. 30	ブ ラ ジ ル	河野・ランプレシア両外相、来年3月にカルドーゾ大統領が来日することで合意。（MN）
5. 31	ブ ラ ジ ル	来日中のランプレシア外相、都内で開かれた記者会見で国連安保理常任理事国の拡大問題に触れ、同国が立候補する意思をもつ旨を表明。（YU）

6. 3	パ ナ マ	3日付けの同国紙パナマ・アメリカによると、同国の高等裁判所は、92年におきたシチズン日本人社員誘拐殺人の容疑者3人に対して、禁固20年の判決。(YU)
6. 4	ジャマイカ	同国出身で、現在ニューヨークを拠点に活動中のロック歌手アンドルー・ドナルズ初来日。東京・新宿でコンサートを開く。 (～6日)(NE)
6. 4	ボリビア	結成21年目を迎えるフォルクローレ・バンド、ルス・デル・アンデが2年振り2度目の来日公演を東京・府中で開催。(7日には新宿で開催)。(YE)
6. 7	メキシコ	同商工開発省、日本企業8社が輸出する化学肥料用の硫酸に対して、暫定的に反ダンピング課税を実施。(YU, NE)
6. 7	ブラジル	女子サッカーの世界選手権第3日目、日本代表はブラジル代表に2-1で快勝。世界選手権初勝利をブラジルから挙げる。(NE)
6. 14	ブラジル	日本輸出入銀行はブラジル国立経済社会開発銀行(BNDES)に対し、総額100億円の融資を行うことを決定、両者間で融資協定が締結。同国への融資は2年9か月ぶり。(YU, NK)
6. 15	メキシコ	マンセル中央銀行総裁、都内で行われた会見で、同国の通貨危機による経済混乱は4月以降鎮静化しつつあるとの見方を示す。(NK)
6. 15	中南米	米州開発銀行(IDB)が年内にも東京に事務所を開設すると発表。同地域に対する日本を含めアジア諸国からの直接投資や協調融資を促進することが目的。(NE)
6. 21	チリ	大王製紙の井川高雄社長、両国友好に貢献した外国人に贈られる「ベルナルド・オヒギンス勲章」を受賞。(NS)
6. 22	アルゼンチン	日本輸出入銀行、同政府に800億円の緊急融資を行うと発表。銀行の民営化資金などとして活用される。(YU, MN)
6. 26	キューバ	同国出身のジャズ・ピアニスト・ゴンサロ・ルバルカバの来日コンサートが東京で開催。(YE)
7. 1	中南米	外務省人事。外務省中南米局審議官に堀村隆彦中南米局参事官を任命。(NK)
7. 4	アルゼンチン	政府、今月8日に行われるメネム大統領就任式に自民党の水野清元総務庁長官を特派大使として派遣することを決定。(NE, MN)
7. 7	チリ	92年9月以降、同国領イースター島のモアイ像の修復を行ってきた「モアイ修復委員会」(委員長:鈴木嘉文前奈良国立文化財研究所長)、同日までに15体すべての修復を終了したと発表。(NK)
7. 11	ブラジル	日伯修好100周年の記念行事の一つとして開催されたブラジル音楽

7. 14	中 南 米	祭に、バイア音楽を代表する歌手シモーネ・モレーノが参加。鹿児島を皮切りに東京、大阪など11カ所でコンサートを開催。(YE, AE) 慶応義塾大学医学部国際医学研究会、医師、学生ら5人を派遣。ブラジル、アルゼンチン、ペルーで民間医療や奥地での医療活動を体験。(YE)
7. 15	メ キ シ コ	メキシコ在住のバイオリニスト黒沼ユリ子氏が主催する「黒沼ユリ子音楽院」創立15周年記念コンサートがメキシコ市で開催。(AE)
7. 18	ブ ラ ジ ル	日本労働研究機構によると、出稼ぎ日系ブラジル人の本国への年平均送金額は一人あたり約2万ドルで、10万人といわれる出稼ぎ者の送金総額は20万ドルとの推計が発表。同数字はブラジルの輸出額の約5%に相当。(AH)
7. 21	エ ク ア ド ル	東京銀行をはじめとする日米欧の4行、同国の主要製油所の一つであるエスメラルダス製油所向けプロジェクトに協調融資(1億3千万ドル)することで合意。同日、契約に調印。(NK)
7. 21	チ リ	両国の友好親善に寄与した外国人に贈られる「ベルナルド・オヒギンス勲章」を毎日放送の斎藤守慶社長が受賞することに決定。同日夜、在日チリ大使館にて授与式が行われる。(MN)
7. 24	ペ ル ー	政府、上下水道や港湾整備など3案件のプロジェクトに対する円借款(約318億円)の実施を決定。同日、首都リマで契約に調印。91年の極左ゲリラによる国際協力事業団(JICA)職員殺害事件以来、フジモリ政権に対する初のプロジェクト借款となる。(YU)
7. 26	メ キ シ コ	日本輸出入銀行をはじめとする邦銀3行、ガソリンの無鉛化プロジェクトのために協調融資を行うことで同国営石油公社(PEMEX)と合意。融資額は1億2200万ドル。(NK)
7. 31	ブ ラ ジ ル	日本や米国、EUなど6か国・地域は、同国の自動車輸入制限について、世界貿易機関(WTO)の国際収支・輸入制限委員会で協議するよう、WTOの一般理事会に要請。9月以降協議が開始される予定。(NE)
7. 31	ブ ラ ジ ル	天皇家のご長女、紀宮内親王殿下が11月上旬にブラジリアで開催される日伯修好100周年記念行事に出席されることが決定。(MN)
7. 31	ブ ラ ジ ル	日伯修好100周年記念シンポジウム「新興市場ブラジルの現状と展望」(日本経済新聞社・ガゼッタ・メルカンチル社共催)が東京で開催。(NK)
8. 4	中 南 米	外務省人事。外務省中南米局長に佐藤俊一文化交流部長を起用。(NK)

8. 4	メキシコ	外務省人事。駐メキシコ大使に寺田輝介前外務報道官を任命。 (NE, ME)
8. 4	中南米	第一回中南米音楽祭（日本楽劇協会）が東京・神田で開催。(YE)
8. 6	コスタリカ	京都で開かれたサッカーの国際親善試合で、日本代表チームは同国代表チームに3-1で快勝。(YU, AH)
8. 15	ブラジル	外務省人事。レシフェ総領事に船越博ジャマイカ兼バハマ大使館参事官を起用。(YU, MN)
8. 18	ブラジル	スラム地区近くに位置するリオデジャネイロ日本人学校近辺で、麻薬密売組織間の抗争とみられる銃撃戦が発生。全校生徒が一斉下校。 (NK)
8. 26	ブラジル	「第15回浅草サンバカーニバル」開催。(於：東京・浅草)(YU)
8. 30	ペルー	フジモリ大統領、11月に予定されているリマ市長選挙に与党候補としてハイメ・ヨシヤマ前制憲議会議長を擁立すると発表。(NE)
9. 2	ジャマイカ	マリングス副首相兼外務・貿易相、4年振りの来日。(～8日) (YU)
9. 6	ジャマイカ	同国出身のレゲエ歌手ダイアナ・キングが来日、東京・新宿などで公演。(～16日)。(YE)
9. 12	パナマ	訪日中のバジャグレス大統領、平沼運輸相との会談で、来世紀初頭に予定されるパナマ運河の拡張工事に日本からの協力を要請。(NK)
9. 15	ペルー	フジモリ大統領、北京で開かれる国連世界女性会議出席の途中、日本を非公式に訪問する。18日には河野外相と会談。(～18日) (NK, NE, ME)
9. 16	ブラジル	アマゾン地域の開発・先住民問題について考える「日伯修好100周年記念環境シンポジウム」が東京・代々木で開催。(主催：日本・ブラジルネットワーク)(YU)
9. 20	パラグアイ	サッカー・95デサントアディダスマッチで日本代表チーム、パラグアイ代表チームに1-2で惜敗。(YU)
9. 23	ペルー	ペルー生れのアルベルト城間をリーダーとするラテンバンド・ディアマンテスが東京・日比谷でデビュー2周年コンサート。(YE)
9. 26	カリブ地域	政府、ハリケーンによる被害を受けたカリブ共同体13か国に対して15万ドルの緊急援助を決定。(YE)
9. 26	ブラジル	学会出席のため、リオデジャネイロ滞在中の福井大学工学部教授(59)、観光中に強盗事件に巻き込まれ、犯人ともつれあった末、市内電車から転落、頭部を強打し死亡。(YU)
10. 1	チリ	航空荷物取扱大手の近鉄エクスプレス、ブラジル、メキシコについ

		で同国に現地法人を設立。中南米地域での営業網拡充を目指す。 (NS)
10. 6	メキシコ	外務省人事。兼ベリーズ大使に寺田輝介メキシコ大使を任命。 (YU, ME)
10. 11	メキシコ	9日、同国中西部で発生した地震による被災者を救援するため、アジア医師連絡協議会（AMDA）に所属する日本人医師3人が現地 にむけ出発。(AE)
10. 13	メキシコ	外務省人事。免、堂ノ脇光朗メキシコ兼ベリーズ大使。(YE)
10. 14	メキシコ	マヤ・アステカの古代楽器を復元、演奏活動を行う民族音楽グルー プ「トリブ」が国際文化交流イベント「時空のかけ橋～メキシコの 夢・日本の夢」に参加。(～15日)(YE)
10. 17	ブラジル	日伯修好100周年記念行事の一環として、指揮者村方千之氏やブラ ジル人演奏家らがピラロボスを始めとするブラジル近代音楽を演奏。 19日も開催。(AE)
10. 18	メキシコ	民族音楽グループ・ハラネロが東京・赤坂でコンサート。(YU)
10. 18	ボリビア	外務省人事。ボリビア大使に堅山道助レシフェ総領事を任命。(ME)
10. 24	ブラジル	同国初の日本語講座がサンパウロ州の公共テレビで開始。日本ブラ ジル修好100周年にあわせたもので、毎週2回30分間の放送。(YE)
10. 24	エクアドル	東京港区の小中学校で不要になった机、いすを同国に寄贈。昨年に 続いて今回で3回目。贈呈式にはアピラ同駐日大使が出席。(YU)
10. 25	チリ	「天の川」の進化の謎を解明するため、同国に移設される高性能電 波望遠鏡の解体作業が名古屋大学理学部天体物理研究室で開始。 (NE)
10. 27	中南米	政府、11月に実施されるグアテマラの正副大統領選挙、国会議員選 挙の監視にあたる米州機構（OAS）に対して、10万ドルの無償援 助を行うことに決定。(ME)
10. 27	ブラジル	ベストセラー『アルケミスト』の著者として知られるブラジルの人 気作家パウロ・コエーリョ氏が来日、東京でトークショー。(AE)
10. 31	ブラジル	日伯修好100周年記念行事出席のため来日中のマシエル副大統領、 朝日新聞懇和会で「ブラジルの政治・経済の現状と対日関係の展望」 について講演。科学技術分野など様々な分野での相互交流を期待。 (AB)
11. 3	中南米	秋の叙勲で、山田務西部アマゾン日伯協会会長ら在外邦人、ホルヘ・ グティエレス・コロンビア全国コーヒー生産者連合会総裁ら外国人 が受賞。(YU)

11. 5	キューバ	同ハバナで開かれていたアマチュア野球のインタコンチネンタルカップ決勝で日本代表チームはキューバ代表チームに1-4で敗れる。キューバは今大会7連覇。(AH, NK)
11. 6	ブラジル	天皇家のご長女、紀宮内親王殿下、日伯修好100周年の記念式典出席などのため、同国にむけ出発。9日、ブラジリアでカルドーゾ大統領を表敬訪問。16日以降、ボリビアと米国をご訪問後、21日に帰国される。(YU, AH, NK, NE)
11. 12	ペルー	同日行われたリマ市長選挙、与党連合「新多数・カンピオ90」候補で日系人のハイメ・ヨシヤマ前制憲議会議長、敗れる。この結果を受け、フジモリ大統領は同氏を大統領府長官に就任させる旨、発表。(NE)
11. 13	グアテマラ	同国の民族音楽を紹介するチャリティーコンサート「民族楽器と民族舞踊と共に」(板橋区文化振興財団主催)開催。(YU)
11. 13	ペルー	警視庁薬物対策課と東京税関、コカインを缶詰に隠し国際郵便で密輸しようとした群馬県在住の同国人およびタイ人を逮捕。(YU)
11. 14	パラグアイ	東京・豊島区の「とみの会」、10月の国勢調査で利用された鉛筆2万4800本を同国大使館を通して現地の子供達に寄贈。(YU)
11. 16	ブラジル	本田技研工業、同国に乗用車の組み立て工場を建設する計画を発表。同国の関税引上げ措置への対応策として現地生産に踏み切る。早ければ97年に稼働。(YU, AH, NK)
11. 16	ボリビア	紀宮内親王殿下、皇族としては初めて同国を訪問。(YE)
11. 18	キューバ	バレーボール・ワールドカップ女子大会最終日でキューバは日本を3-0で下し、史上初の大会3連覇を達成。(NK)
11. 28	ブラジル	サンパウロ市のスラム街で生れた劇団「モンチ・アズール・シアター・グループ」が来日。民話「天女の羽衣」をベースにエイズ問題を扱った舞台劇を各地で公演(12月3日まで)。(AH)
12. 1	ペルー	米国南イリノイ大学人類学部の島田泉教授率いる調査団、同国北海岸のチクラヨ市北東のラポマ国立公園内で、1000年前のシカン文化の銀・金の合金仮面を発見したと発表。(NK)
12. 4	ブラジル	アトランタ五輪代表選考会を兼ねた福岡国際マラソンで、同国出身のドスサントス選手が優勝。同大会での南米選手の優勝は41年振りのこと。(YU)
12. 5	キューバ	カストロ国家評議会議長、中国からの帰国の途中、日本に一時立ち寄りの形で訪問することを希望する旨、日本政府に打診。最終的に12日夕刻に訪日することが11日に正式決定。(MN)

12. 8	ブラジル	来日中のビエイラ農相、都内で会見を行い、現在禁止されている牛豚肉の対日輸出を拡大させるため、来年3月をめどに、日本と農畜産物の衛生協定を結ぶ方向で準備する旨を表明。(NK)
12. 12	キューバ	カストロ国家評議会議長、初来日。同日夜、三塚博日本キューバ友好議員連盟会長と約30分の会談。(YU, AH, AE, NK, NE, MN)
12. 13	キューバ	カストロ国家評議会議長、村山首相と初首脳会談。同首相、キューバの民主化と経済開放路線のいっそうの推進を求める。(YU, AH, AE, NK, NE, MN)
12. 14	キューバ	政府、カストロ国家評議会議長の最近の国際社会での活動を評価するものとして、同国に初の無償資金協力を実施することにほぼ決定。(AH, NK, MN)
12. 15	中南米	南米の民族楽器サンポーニャとケーナの演奏家、瀬木貴将が東京・渋谷でコンサート。(YE, NE)
12. 17	キューバ	国営プレス・ラティーナ通信によると、カシオ計算機が来年4月から、現地での腕時計組み立てを開始することでキューバ政府と合意。(YE)
12. 18	中南米	外務省人事。ブラジル大使に塚田千裕法務省入国管理局長、アルゼンチン大使に荒船清彦元外務省中南米局長、トリニダード・トバゴ大使に田中雍彦トロント総領事をそれぞれ任命。(YE, ME)
12. 20	コロンビア	米国マイアミ発コロンビア・カリ行きのアメリカン航空がアンデス山中で墜落。24日までに日本人女性一人(ボゴタ在住の商社社員の長女)を含む乗員乗客160人の遺体を収容。(YE, AH, AE, NK)
12. 22	チリ	三井物産、日鉱金属、三井金属の3社、同国の銅鉱床開発会社コジャワシの株式12%を取得することで合意したと発表。今後は正式契約を経て、98年後半をめどに銅精鉱の生産を開始する予定。(NK, NS)

(以上160項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE
毎日	MN	ME

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1996年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 19(2)
Issue Date	1998-01-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9329
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

〈資料〉

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1996年－

月 日	国名	記事
1. 9	グアテマラ	アルスー大統領就任式(14日)に、山口鶴男前総務庁長官を特派大使として派遣することが閣議で決定(AE, YE)。
1. 17	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴの巨匠フリアン・ブラサが今回初めて自己の楽団を率いて来日。全国公演を開始(YE)。
1. 19	コロンビア	外務省人事。駐コロンビア特命全権大使に浅見真労働省官房審議官を任命(NE, YE)。
1. 22	ベネズエラ	日本石油は、米国モービル、ドイツ・フェーバ社とともに油田開発権(ベネズエラ西部のマラカイボ湖岸の「ラ・セイバ鉱区」)を国際入札で獲得。日本石油の持ち分比率は20%、落札価格は1億4000万ドル(NE)。
1. 22	チリ	住友商事は、チリ第2位の船会社コンパニア・チレナ・デ・ナビガシオン・インテルオセアニカ(CCNI)と用船契約を行う。4.6万トン級の中型ばら積み船4隻を建造、10年契約でCCNIに賃貸する(NK)。
1. 25	アルゼンチン	南米最高峰アコンカグア山(6959メートル)で日本人男性(26)(語学勉強の目的などでコロンビア滞在)が滑落死(NE)。
1. 26	ハイチ	閣議で、2月7日の大統領就任式に自民党の白川勝彦代議士を特使として派遣することを決定(AE, NE)。
2. 14	メキシコ	カーエレクトロニクスの富士通テン、同日付けで現地法人「富士通テンメキシコ」を設立。米国工場向けにカーオーディオ部品を生産、輸出(NS)。
2. 19	ペルー	日本輸出入銀行は米州開発銀行(IDB)との協調融資の形で、同国にアンタイドローンとして105億円を融資することを決定(NS)。
2. 20	ペルー	外務省人事。ペルー大使館参事官兼リマ総領事に木本博之パラグアイ大使館参事官兼領事を任命(YE)。
2. 22	アルゼンチン	来日中のディテラ外相、池田外相と会談。2002年のサッカーワールドカップ日本開催への支持を表明(YU)。
2. 26	ブラジル	カルドゾ大統領、日本の報道機関の合同会見で、日本の国連安全保障理事会の常任国入りを支持するとともに、その場合、日本にも拒否権を与えるべきであると強調(AE)。
2. 27	トリニダード・トバゴ	外務省人事。田中雍彦駐トリニダード・トバゴ特命全権大使を兼アンティグア・バーブーダ、グレナダ、セントビンセント、ドミニカ国、バルバドス特命全権大使に任命(AE)。

2. 27	ブラジル	同国の有力紙オ・エスタド・デ・サンパウロで、サッカー連盟会長のリカルド・テイシェイラ国際サッカー連盟理事が日本開催を支持したと報道(YE)。
3. 1	ブラジル	外務省人事。クリチバ総領事に井上浩大臣官房調査官、マナオス総領事に中村裕サンパウロ領事、ベレン総領事に縫村義則クリチバ総領事を任命(YU)。
3. 4	コロンビア	日商岩井、住友商事、三井物産、NECはコロンビア電電公社から総額100億円の通信設備建設契約を受注。首都サンタフェデボゴタ市内の電話網の整備を行う(AH, NK)。
3. 5	チリ	同国政府、篠崎昭彦住友金属工業会長に「ベルナルド・オヒギンス勲章グランオフィシアル章」を授与(NS)。
3. 5	ブラジル	味の素はサンパウロ州に飼料用リジンを生産する工場を設立することを発表。97年末からの生産開始を予定(NS)。
3. 6	エクアドル	サッカーの国際親善試合が長良川競技場(岐阜県)で開催。日本五輪代表はエクアドル代表に0-1で惜敗(NK)。
3. 11	コロンビア	サンパウル大統領は地元ラジオを通して、4月7日に予定していた日本公式訪問を延期すると発表(NE)。
3. 12	中南米	スペイン語、ポルトガル語を含む8つの外国語でニュース、音楽、情報などを放送するFM局「エフエムインターウェーブ」が4月1日より開設されることが決定。首都圏では初めての開設となる(YU)。
3. 12	ブラジル	カルドーズ大統領、国賓として来日(—15日まで)。14日には参院本会議場で国会演説を行う(YU)。
3. 12	ブラジル	日系人高齢者のための「憩の園」創設者の渡辺・トミ・マルガリータさん、老衰のため死亡。95歳(YU)。
3. 12	ブラジル	9年前に撤退したアルミニウムの合併プロジェクトに、日本軽金属など4社が再参加することが決定。日本政府が日本輸出入銀行を通して2億円の融資を行うほか、同4社も新規投資を行う(NK)。
3. 13	ブラジル	久保副総理兼蔵相、来日中のセラ企画相と会談。同国に総額約1670億円の資金供与を行うとの方針を表明。内訳は日本輸出入銀行の融資が1020億円、海外経済協力基金の円借款が552億円(YU, NE, NS)。
3. 13	ブラジル	国賓として来日したカルドーズ大統領、天皇・皇后両陛下と会見。同日夜には皇居・宮殿の豊明殿で開かれた宮中晩餐会に出席(AH, AE, NE)。
3. 14	ブラジル	橋本首相、来日中のカルドーズ大統領と会談。国連の安全保障理事会の改革問題で2国間が協力することで一致(NK)。
3. 15	ブラジル	塚原通産相、来日中のウエルネク観光商工相に、昨年3月に引き上げられた自動車関税率を下げるように要請するが、同観光商工相はこれを拒否(NK)。

3. 15	ブラジル	丸紅、三井物産など商社6社と国営石油会社ペトロブラスが共同で製油所（日糧量20万バレル）を建設すると発表。総事業費約15億ドル、エネルギー分野では過去最大のプロジェクトとなる(NK)。
3. 15	ブラジル	三井物産、ペトロブラス社と2億1000万ドルの融資契約を結ぶ。サンパウロ州パウリニア製油所に建設されるディーゼル油の水添脱硫装置のための融資となる(NK)。
3. 27	ペルー	海外経済協力基金、ペルーの上下水道整備などを目的として総額250億5000万円を上限とする円借款を行うため契約に調印(NS)。
3. 31	ブラジル	外務省人事。免、須山章駐ベレン総領事および平野稔駐マナオス総領事(AH)。
4. 9	中南米	外務省人事。田中雍彦駐トリニダッド・トバゴ兼アンティグア・バーブーダ兼グレナダ兼セントビンセント兼ドミニカ国兼バルバドス特命全権大使を兼セントクリストファー・ネイビス兼セントルシア特命全権大使に任命(AH)。
4. 9	メキシコ	日本と租税条約を締結（於メキシコ）(NK)。
4. 10	ブラジル	本田技研工業、ブラジルに現地法人を設立し、来年8月から乗用車の生産を開始すると発表。中南米ではメキシコに次ぐ生産拠点となる(AH)。
4. 15	ペルー	東京税関成田支署などは、ウィスキー瓶にコカインの水溶液（末端価格で1億7000万円）を入れてブラジルから密輸しようとした日系ペルー人の無職男性を逮捕(YU, NK)。
4. 16	ブラジル	外務省人事。免、宇川秀幸駐ブラジル特命全権大使および小池庸夫駐アルゼンチン特命全権大使(AE)。
4. 18	ブラジル	国家民営化審議会により、公営配電会社ライト（リオデジャネイロ州）の民営化株入札が5月21日まで延期されることになる(NS)。
4. 22	ブラジル	政府は、ブラジル政府の外国製自動車および同部品に対する関税政策が世界貿易機関（WTO）協定に反するとして同国を提訴する方針であることを表明(YU, NE)。
4. 25	ブラジル	三菱重工業と住友商事は、同ウジミナス製鉄所から酸洗設備（年間処理能力60万トン）を受注したことを発表。受注額は50億円弱(NS)。
4. 29	中南米	春の叙勲で、河本衛元ペルー日系人協会会長など複数のラテンアメリカ在住の日系人が受賞(NK)。
5. 4	メキシコ	メキシコ警察は同日までに、のべ3000人ものメキシコ人女性を売春目的のために日本に送り込んだ容疑で、二人の邦人男性を逮捕(NE)。

5. 14	メキシコ	日産自動車、1997年秋から小型トラック（ダットサン）の生産を順次米国に移転する一方で、メキシコでの生産を小型自動車（セントラ）に集約していくと発表。北米市場での事業建て直しが目的(NK)。
5. 16	メキシコ	恐竜絶滅の原因とみられている6500万年前の隕石衝突に関する調査が日本、米国、メキシコの研究者によって合同で行われることが明らかになる。調査地は衝突現場とされるメキシコ・ユカタン半島で、6月中旬にも開始予定(YU)。
5. 23	ベリーズ	同国元首として初来日したエスキベル首相、橋本首相と会談(YU)。
5. 25	コロンビア	同国出身の画家フェルナンド・ボテロの作品を展示した「ボテロ展」が東京で開催（—6月23日）(YU)。
5. 27	エルサルバドル	外務省人事。駐エルサルバドル特命全権大使に岩元克国際協力事業団理事を任命(YE)。
5. 27	ベネズエラ	神戸製鋼は、現地の鉱山会社やメキシコや韓国の電炉メーカー、日本の商社などと直接還元製鉄プラント建設を開始するための協定書に調印したと発表。神戸製鋼にとっては2件目の直接還元製鉄プラントとなる(NK)。
5. 29	メキシコ	サッカー・キリンカップ最終日、日本代表はメキシコ代表に3—2で逆転勝利。この結果、日本が優勝、メキシコが2位となる(YU)。
5. 29	南米	戦後6万7000人もの移住者をブラジルなどに運び、73年に引退後は海洋バビリオン「鳥羽ブラジル丸」として親しまれたぶらじる丸（1954年建造）が解体のため、三重県鳥羽市の鳥羽港から中国に向け出港(NE)。
5. 30	パラグアイ	4月初めから行方不明のブラジル在住日本人技術者、首都アスンシオンから東に230キロ離れた雑草地帯で遺体で発見。自動車強盗グループに襲撃、殺害された模様(AE, NE)。
6. 1	ベルー	同国の公安当局の調べで、日本赤軍のメンバー、戸平和夫容疑者が今年1月にエクアドル国籍を装いベルーに永住許可を申請していたことが判明。警察当局は日本赤軍が南米に拠点を設け、反体制テロ組織と接触していた疑いがあるとして、捜査を開始(YU, NK, NE)。
6. 3	パラグアイ	日刊紙ラ・レプブリカはパラグアイ警察関係者の話として、昨年6月、日本赤軍のメンバーがワスモシ大統領の暗殺を計画していたと報道(YU)。
6. 4	ブラジル	川崎製鉄はブラジル大手の製鉄メーカー・ツバロン製鉄所の株式を買い増すと発表。これによって出資比率は現在の7.8%から19.9%に増加(YU, NK, NS)。
6. 4	ニカラグア	池田外相は閣議で、ニカラグア大統領・国会議員選挙（10月20日実施予定）の監視にあたる米州機構（OAS）などに総額71万ドルの供与を行う旨報告、了承される(NE)。

6. 5	ペルー	同国で身柄を拘束され国外退去処分を受けた日本赤軍メンバーの吉村和枝容疑者が出国。7日に日本に帰国(YU, NE)。
6. 7	アルゼンチン	ヤマハ発動機が首都ブエノスアイレスで三輪車の合弁販売会社「ヤマハモーターアルゼンチン」を設立(NK, NE)。
6. 13	コロンビア	東京税関成田支署と千葉県警は、コカイン約3.4キロ（末端価格約2億4000万円）を持ち込もうとしたコロンビア国籍の男性を麻薬取り締まり法違反などで逮捕(NK)。
6. 17	ブラジル	同国の自動車関税政策を巡る政府間事務レベル協議が物別れに終わる（於ブラジリア、—18日）(AH, NE)。
6. 27	メキシコ	日産自動車系部品メーカーのカンセイは、北米地域に自動車ワイヤーハーネスの開発・生産拠点を設けるため、米テネシー州に新会社を、またメキシコ・アグアスカリエンテス州に新工場を建設すると発表(NK, NS)。
7. 2	ホンデュラス	日本の政府開発援助の一環として、金属鉱業事業団と国際協力事業団が資源開発協力プロジェクトをホンデュラス政府と行う旨、調印(NS)。
7. 5	メキシコ	同国を訪問中の斉藤十朗参院議長、セディージョ大統領を訪問(YU)。
7. 7	ブラジル ペルー	法務省入国管理局が発表した外国人登録者統計によると、昨年末現在でブラジル国籍者は全体の13%で、韓国・朝鮮、中国について3番目であり、またペルー国籍者は全体の2.7%で、両者とも前年に続き増加傾向にあることがわかる(YU)。
7. 8	メキシコ	来日中のグリア外相、橋本首相との会談で、環境分野での日本からの協力を要請。その後、文化無償協定（1億円）に関する書簡を池田外相と交換(YU, NK)。
7. 8	メキシコ	グリア外相、橋本首相の中南米歴訪を前にセディージョ大統領からの正式な招待状を手渡す(AH)。
7. 11	ブラジル メキシコ	自動車用ばねを扱うニッパツは、ニッパツメキシコ社と共同で、ブラジル・サンパウロにあるばねメーカー、ファブリーニ社を買収したと発表。同社の買収により、乗用車用の巻きばね生産部門に進出する(NK, NS)。
7. 17	ブラジル	同国第2位の航空会社ヴァスビ・ブラジル航空は、ロサンゼルス経由のサンパウロ—大阪（関西国際空港）線を開設したと発表。28日から運行開始予定。当分は日本発は週2便の運行となる(NK, NS)。
7. 21	ブラジル	アトランタ五輪の男子サッカー予選で日本は強豪ブラジルを1—0で破る快挙を成し遂げる(NE)。
7. 22	ブラジル	デジタル多チャンネル放送を行うTVAが、日本放送協会（NHK）の番組の試験的放送を開始。9月以降本格的な放送を行う予定(NE)。

7. 24	ブラジル	国内自動車産業の保護を目的とした関税引き上げや現地生産企業への優遇措置をとるブラジルの自動車政策を巡る、日本とブラジル政府の事務レベル協議が物別れに終わる。この結果、政府は30日に世界貿易機関（WTO）への提訴を決定(YE, NE)。
7. 29	中南米	池田外相、中米6カ国の外相による「対話と協力フォーラム」第2回会合に出席(YU)。
7. 30	ブラジル	政府はブラジルの自動車関税政策について世界貿易機関（WTO）に提訴し、二国間協議の開催を要請(NK, NS)。
8. 2	キューバ	アトランタ・オリンピック野球決勝で、キューバは日本に13対9で快勝。前回のバルセロナ・オリンピックに続き2度目の金メダルを獲得(YE, NK)。
8. 6	ブラジル	トヨタ自動車、同国で乗用車生産を開始することを決定。工場進出に関する覚書に進出先となるサンパウロ州と調印。工場建設は96年末に着工予定。投資額は160億円で、年間生産15000台を生産する計画(NE, NS, YU)。
8. 7	ドミニカ共和国	閣議で、16日のフェルナンデス新大統領の就任式に自民党の林義郎衆議院議員を特派大使として派遣することを決定(NE)。
8. 10	メキシコ	米国国境の町ティファナ市内の駐車場で、三洋電機系列の現地邦人「サンヨー・ビデオ・コンポーネンツ」の社長が誘拐される事件発生。10日後に無事解放される(AH, AE, YU, YE, NK, NE, NS)。
8. 13	ブラジル	日本とブラジル政府、同国の自動車関税政策について世界貿易機関(WTO)の紛争手続き処理に則り、協議を開催したものの両者に歩み寄りは見られず、物別れに終わる(NK, NE)。
8. 17	中南米	政府は、中南米地域との交流を促進するため、来年度に中南米諸国から若手行政官約50人を招致し、関係省庁で研修を行う方針を固める(YU)。
8. 20	中南米	橋本龍太郎首相、中南米5カ国（メキシコ、チリ、ブラジル、ペルー、コスタリカ）を歴訪（30日まで）。日本の首相の中南米訪問は7年ぶり。最初の訪問国メキシコへ向かう政府専用機の中で「中南米諸国との新しいパートナーシップの構築」を強調する(YE, AE, NE)。
8. 20	コスタリカ ニカラグア	閣議で、7月末に台風による被害を受けたコスタリカ、ニカラグアに対して緊急無償援助を行うことを決定(YE, NE)。
8. 21	メキシコ	橋本首相、訪問先のメキシコでセディージョ大統領と会談。日系企業社長の誘拐事件、南南協力、日本人移住百周年（1996年）などについて意見をかわす。またメキシコ市内の下水処理場建設のための円借款（総額約451億円）に関する書簡を交換(YE, AE, NK)。

8. 21	ブラジル	ブラジル政府は、日本を含め現地生産工場をもたない国の自動車メーカーに対して、5万台の枠で輸入関税を半減させ、35%にまで引き下げると発表(YU)。
8. 22	チリ	橋本首相、第2の訪問国チリに夕刻到着。日本の首相の同国訪問は1959年の岸首相以来37年ぶりとなる(NE)。
8. 23	チリ	橋本首相、 Frei大統領と会談。チリの年金制度の「民営化」ノウハウを旧ソ連諸国や東欧諸国に提供し、市場経済化を促進させる「南南協力」に対して日本が支援する計画などを明らかにする。なお同会談で同大統領の訪日（来年後半を予定）が正式に決定(YE, AE, NE)。
8. 23	チリ	橋本首相と Frei大統領、同国の教育振興のため5000万円の無償協力を行う旨、書簡を交換(NE)。
8. 24	ブラジル	今年で16回目となる浅草サンバカーニバルが開催(YU)。
8. 24	ブラジル	橋本首相、第三の訪問国ブラジルに到着。同日夕刻、サンパウロに向かう(NK)。
8. 25	ウルグアイ	大阪で開かれたサッカー国際親善試合で日本はウルグアイに5-3で快勝(YU, NK)。
8. 25	ブラジル	ブラジル訪問中の橋本首相、同日午後にサンパウロ州知事・日系人団体共催の歓迎レセプションの席上、来年に天皇・皇后両陛下がブラジルを公式訪問されることを正式に表明(YU, AH, NK)。
8. 25	ブラジル	ブラジル訪問中の橋本首相、同日午前、サンパウロ市内で日系人団体代表者と懇談。日系人団体側が日本文化普及のための施設建設への支援を要望したのに対して、政府として協力する考えであることを表明(AE)。
8. 26	中南米	米紙ロサンジェルス・タイムスは、第二次世界大戦中に米国の強制収容所に収容された中南米の日系人が、米政府に謝罪と補償請求を求める訴えを起こすことになったと伝える(YU)。
8. 26	ブラジル	橋本首相、ブラジリアでカルドゾ大統領と会談。同国の保護主義的な自動車政策について是正を求めたのに対して、同大統領は「段階的に再検討する用意がある」と柔軟な姿勢を示す。なお同席上、来年5月の天皇・皇后両陛下のブラジル訪問を正式に伝えた(YU, AH, NK)。
8. 26	ペルー	南米歴訪中の橋本首相、4番目の訪問国ペルーの首都リマに到着。翌27日にフジモリ大統領と会談。日本からの経済協力調査団の派遣や青年海外協力隊の派遣再開などを提案した他、移住100周年となる99年の大統領訪日が決定(YE, AE)。
8. 26	ブラジル	日本とブラジル両政府、同国の環境保全対策のための円借款(551億円)について書簡を交換(NK)。

8. 27	ペルー	ペルーの社会基盤整備のための援助として、日本政府が総額628億円の円借款を行うことを決定。同日、両政府が書簡を交換。ペルーへの供与額としては過去最高の水準(YE)。
8. 27	中南米	ペルー訪問中の橋本首相、フジモリ大統領との共同会見の席上、来年「アジアと中南米との関係強化を求めて」と題するシンポジウム（日本輸出入銀行と米州開発銀行（IDB）と共催）を東京で開催することを発表(AE)
8. 27	ペルー	橋本首相、フジモリ大統領より同国最高の勲章とされる「ペルー太陽大十字勲章」を受ける(NE)。
8. 28	キューバ	デザイナーのコシノ・ジュンコさん、外国人デザイナーとしては初めてハバナでファッションショーを開く（30日も開催）(NK)。
8. 29	ブラジル	ブラジルのパーカッション・ダンス・グループのチンバラードが昨年に続き来日。東京・渋谷で公演(YE, NE)。
8. 29	コスタリカ	コスタリカ訪問中の橋本首相、フィゲレス大統領を始め中南米諸国首脳との会談。観光開発支援のために、来年「観光交流促進ミッション」を派遣する計画である旨を表明(AE, NE)。
9. 1	ホンデュラス	ホンデュラスからの報道によると、ニカラグアおよびエルサルバドルとの国境付近に埋設されている地雷15万個を日本の援助によって除去することが決定。10月のレイナ大統領の来日時に関係文書の調印が行われる予定(YE)。
9. 4	メキシコ	同国の北バハ・カルフォルニア州のアヤナ検事総長は記者会見で、先月におきた日系企業社長誘拐事件の容疑者とみられる8人の顔写真入りポスターを公開、容疑者らを指名手配したことを発表(AE)。
9. 4	ブラジル	大阪商船三井船舶は、経営効率化のため、92年に設立した商船三井ブラジルを2社（「南米商船三井」および「商船三井ブラジル集荷」）に分割することを決定(NK, NS)。
9. 14	コスタリカ	種苗会社サカタのタネが同国の種苗会社フローラ・フェリス社を140万ドルで買収。中南米向けの花弁、野菜の種苗の研究開発などに力を入れる(NK, NS)。
9. 24	ペルー	海外経済協力基金は、総額688億400万円を上限とする円借款を行うことを決定。同日契約調印を行う(NK)。
9. 24	ブラジル	本田技研工業の同国進出にあわせ、自動車用骨格・パネル部品を生産する菊池プレス工業がブラジルに子会社を設立することを決定。97年6月から生産を開始する(NK, NE, NS)。
9. 30	ブラジル	リオデジャネイロ中心部で日本人観光客の男性が撃たれ、重傷(AH, NK)。
10. 1	チリ	日航金属、サンティアゴに海外事務所を開設(NS)。

10. 15	コロンビア	日本輸出入銀行は、オレオダ・セントラル社 (OCENSA) との石油パイプライン建設プロジェクトのため、融資契約に調印。融資額は総額1億2200万ドルで日本興業銀行など民間7行との協調融資で行われる(NS)。
10. 16	チリ	農水省、チリ産の牛、豚、羊など食肉の輸入解禁を決定(YU)。
10. 21	キューバ	外務省人事。駐キューバ大使に田中三郎駐シドニー大使を任命(YE)。
10. 22	メキシコ	日産自動車は米国とメキシコでの生産を拡大し、2000年までに現在の年産55万台から70万台にすると発表(AH)。
10. 22	メキシコ	同国南部チアパス州サンクリストバルデラスカサス市近郊の川付近で日本人観光客の女性が遺体で発見(AE)。
10. 31	ブラジル	同国内航空会社TAMの旅客機がサンパウロ市南部のコンゴニャス空港を離陸直後に墜落、炎上。乗客乗員96人全員が死亡したほか、永住日本人1人を含め8人の住民が地上で巻き添えとなり死亡(AH, AE, NE)。
11. 3	中南米	秋の叙勲で、山田純一郎バラー日系商工会議所会頭ら在外邦人、グスタボ・アンドラーデ上智大学教授ら外国人が受賞(AH, YU)。
11. 4	ボリビア	サンチェス大統領、訪日(一8日)。6日に橋本首相と会談。同会談に先立ち、同行したアライバル外相と池田外相が会談。食糧増産援助のための5億円の無償資金協力に関する書簡に署名(YU)。
11. 5	メキシコ	同国の政府系紙ナショナルの記者によると、ソノラ州警察は8月におきた日系企業社長誘拐事件の容疑者とみられる男5人を逮捕。なお7日付けの地方紙エル・インバルシアでは容疑者5人が犯行を認める供述を行ったと報道(YE, AE, NE)。
11. 8	ブラジル	同全国自動車部品工業協会、初の訪日ミッション(自動車部品メーカー約30社が参加)を派遣(一19日)(NS)。
11. 12	ペルー	フジモリ大統領、日本と東南アジア諸国を歴訪のため出発。13日に橋本首相らと会談。橋本首相、ペルー南東部で発生した地震(現地時間12日正午)への救援活動に日本も協力することを表明(AH, YU, YE)。
11. 13	ペルー	東京農業大学(東京都世田谷区)がフジモリ大統領に名誉農学博士の称号を贈る。当日の贈呈式でフジモリ大統領は「ペルーの経済と農業」と題する記念講演を行う(AH)。
11. 18	アルゼンチン	モサリーニ&アントニオ・アグリ・タンゴ五重奏団が全国公演を開始。3年連続の来日となる(YE)。
11. 25	コロンビア	東京税関成田支署、千葉港署はコカイン7キロを密輸しようとしたコロンビア人夫婦を逮捕。成田空港での一回の押収量としては過去3番目(AE, YE, NK)。

11. 26	アルゼンチン	東京・国立競技場で第17回トヨタカップ（サッカー）が開催。アルゼンチン・チーム「リバープレート」がヨーロッパ代表のイベントス（イタリア）と対戦するが、0-1で惜敗(NK, YE)。
11. 29	グアテマラ	外務省人事。駐グアテマラ大使に村山比佐斗国際研修協力機構常務理事を任命(NE, YE)。
12. 3	ベリーズ ホンデュラス	水産庁は、大西洋マグロ類保存国際委員会が採択した勧告を受け入れ、97年6月末にも両国からのクロマグロの輸入を禁止すると発表(NK)。
12. 6	アルゼンチン	現代アルゼンチンタンゴを代表するピアニスト・オスバルド・レケーナが10年ぶりに来日。東京で公演を行う(YE)。
12. 9	アルゼンチン	ヤクルトが販売会社を設立する旨、発表。まずはブラジル子会社から商品（乳酸菌飲料「ヤクルト」）を供給し、プエノスアイレス市内を中心に販売。3～4年後をめどに現地生産に踏み切る予定(NK, NS)。
12. 10	アルゼンチン	トヨタ自動車の工場で、現地生産車（小型トラック）第一号が完成。当面は年産1万台をめざし、97年末に量産化に踏み切る。生産台数の半分をブラジルへ輸出する計画(NK, NS)。
12. 11	ブラジル	日本軽金属など民間4社と政府は先に決定したブラジルのアルミ事業参加について、同日ブラジル政府と融資契約を調印(NK, NS)。
12. 12	キューバ	キューバ政府、作家の村上龍氏に文化功労賞を授与。日本人では6人目の受賞となる(NE, YE)。
12. 13	メキシコ	米国との国境に近い町ティファナで、松下電器産業の現地法人事務所が武装した2人組に襲撃、犯人は現金を奪って逃走(NK)。
12. 17	チリ	外務省人事。駐チリ大使に中村武国際貿易・経済、地球環境問題担当大使を任命(AE, YE)。
12. 17	ペルー	首都リマにある日本大使公邸で、天皇誕生日を祝うレセプションの最中（同日午後8時過ぎ）、トゥパク・アマル革命運動（MRTA）と見られる武装ゲリラによる襲撃事件が発生(AE, NE, YE)。
12. 18	ペルー	日本外務省に入った情報で、人質となっている日本人・日系人は120人、全体で490人が拘束されていることが判明。同日午後、橋本首相、フジモリ大統領に電話で、邦人保護を要請するとともに、今後の対応を協議する(AH, NE, YE)。
12. 19	ペルー	池田外相、橋本首相の指示を受け、日本大使公邸占拠事件の早期解決に向け現地入り。また首相官邸には橋本首相を本部長に「在ペルー日本大使公邸占拠事件対策本部」を設置、対応に当たる(AH, YU)。
12. 19	ペルー	日本大使公邸占拠事件発生2日目の同日夕刻、日系人3人を含む4人の人質が解放される(NE, YE)。

12. 19	ペルー	同日夕刻、リマに到着した池田外相、ペルー大統領府でフジモリ大統領と約40分間の会談を行ったのに続き、パレルモ教育省とも会談。一連の会談で、池田外相は人質の安全を第一に事件の平和的解決を目指すことを強調し、ペルー側もこの点で一致(AE, NE, YE)。
12. 19	ペルー	「在ペルー日本大使公邸占拠事件対策本部」第一回会合が首相官邸で召集され、橋本首相は「人命最優先」の立場で今後対応していくことを確認(AE, NK)。
12. 20	ペルー	日本赤十字は医師1人、看護婦2人を含む計5人をペルーに派遣することを決定(出発は23日)(AH, NK, YU)。
12. 20	ペルー	事件発生から3日後の同日夕刻、日本人・日系人数十人を含む人質38人が解放(AE, NE, YE)。
12. 20	ペルー	池田首相、リマ市内の日秘文化会館で人質になっている日系人や日本企業、各国大使館の家族や関係者と面会。また既に解放されたドイツ大使などとも会談(AH)。
12. 20	ペルー	自民党内に日本大使公邸占拠事件の情報収集にあたる対策本部が発足(座長は加藤紘一幹事長)(NK)。
12. 20	ペルー	日本大使公邸占拠事件で、ペルー政府はトゥパク・アマル革命運動(MRTA)の要求(獄中の仲間ゲリラの釈放)を拒否する態度を表明、この点について政府に事前の伝達はなし(NE)。
12. 21	ペルー	日本大使公邸占拠事件への対応のためペルー入りした池田外相、前夜に解放されたブラジル、エジプト、韓国3カ国大使と会談、お見舞いを述べるとともに、事件解決にむけ意見交換を行う(YU)。
12. 21	ペルー	外務省は、フジモリ大統領がゲリラ側の収監中のメンバーの釈放要求を拒否する方針を示したことを確認(AE)。
12. 22	ペルー	橋本首相、日本大使公邸占拠事件への対応のためペルー入りしていた池田外相に対し、当初の任務を完了したとし、帰国を指示。代わって24日に佐藤俊一中南米局長をリマに派遣、現地対策本部の本部長とすることを決定(AH, NK, YU)。
12. 22	ペルー	橋本首相、記者団に対し、前日フジモリ大統領が国民に向け行った演説を通して明らかにされたペルー政府の事件解決にむけた提案を日本政府として支持すると語る(YU)。
12. 22	ペルー	事件発生から6日目の同日夕刻、日本人30人を含む225人の人質が解放。解放理由として「クリスマスの祝意を表して、ペルー政府に関係のない人たちを解放する」との声明がゲリラ側より発表(AH, NK, YU)。
12. 23	ペルー	フジモリ大統領、事件の平和的解決に向け、引き続き努力する内容の書簡を橋本首相に送付。(YU)。
12. 24	ペルー	外務省の佐藤俊一中南米局長がペルー入り。日本大使公邸占拠事件の現地対策本部長として陣頭指揮に当たる(YE)。

12. 24	ペルー	フジモリ大統領と橋本首相、電話で会談。同大統領は日本の医療チームの派遣などを高く評価するとともに事件解決には時間がかかることを説明した模様(NE)。
12. 24	ペルー	橋本首相、同日午前にかかれた日本大使公邸人質事件の対策本部の会合で、改めて人質の人命第一で事件の解決に当たる旨を強調する(NE)。
12. 25	ペルー	日本大使公邸占拠事件で、人質になっていた大使館員1人が健康の悪化を理由に解放(AH, NE, YE)。
12. 25	ペルー	橋本首相、外務省と首相官邸で行った記者会見で、日本大使人質事件に関連して起きている在日ペルー人や駐日ペルー大使館への嫌がらせについて、そうした行為をやめさせるよう、マスコミにも協力を要請(AH, NS)。
12. 25	ブラジル	大和銀行、サンパウロ駐在員事務所を廃止(NK, NS)。
12. 27	ペルー	ペルー・リマの現地対策本部に防衛庁の官房企画官と陸上幕僚監部の三佐が現地での情報収集のため派遣(NK)
12. 28	ペルー	日本大使公邸占拠事件で、邦人を含む人質20人が解放される(YU, NK)。
12. 29	ペルー	橋本首相、フジモリ大統領に送った書簡の中で、これまでの大統領の対応を評価するとともに、今後は人質全員が早期に解放され事件が解決するよう努力することを期待し、日本政府も全面的に協力すると述べる(AH, YU, NK)。
12. 29	ペルー	橋本首相、ペルー政府と犯行グループ側の直接交渉が開始されたことについて、楽観はできないものの今後の展開に期待するとのコメントを行う(NK)。

(以上159項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

<u>新聞名</u>	<u>朝刊</u>	<u>夕刊</u>
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1997年—
Author(s)	
Journal	イペロアメリカ研究, 20(2)
Issue Date	1999-01-11
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9345
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌—1997年—

月 日	国名	記事
1. 1	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件で、邦人4人を含む人質7人が解放される。(YU, NK, AH)
1. 3	ウルグアイ	ラモス同外相、ペルーの日本大使公邸人質占拠事件における同国の立場を説明するため急遽来日。翌4日に池田外相と会談。(YU, NK, AH)
1. 7	ペルー	橋本首相、今年の初閣議の挨拶の中で、ペルーの日本大使公邸人質占拠事件について引き続き平和的解決を求める政府の基本姿勢を強調するとともに、全閣僚の協力を要請。(YE)
1. 7	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件で、同日午後、民放テレビ局の日本人特派員ら2人が公邸内に入り、約2時間にわたって取材を実施。ペルー当局は二人を公務執行妨害の疑いで拘束、事情聴取を行う。また日本政府、各国報道陣、企業関係者などからは疑問や批判の声が上がる。(YU, YE, NE, AH, AE)
1. 7	ブラジル	国際電信電話(KDD)、サンパウロにあるインターネットプロバイダー「インターネットホール」に対し出資、株式の57.1%を取得することで同社と合意。(NK)
1. 9	ペルー	外務省は、7日に延期が決定したペルーへの経済援助調査団派遣について、同国に対する政府開発援助(ODA)の基本方針に変更はないとし、日本大使公邸人質占拠事件解決後、調査団を派遣する方針を表明。(YU, AH)
1. 11	ペルー	公邸内を強行取材したとしてペルー当局に身柄を拘束されていた日本人記者とペルー人通訳の2人が4日ぶりに釈放される。うち日本人記者は事実上強制退去処分として米国に向け出国。(YU, AH, AE)
1. 14	アルゼンチン	アルゼンチンタンゴのオスバルド・ピーロ楽団初来日。全国公演がスタートする。(YE)
1. 16	中南米	政府は事務次官会議で、ペルーの日本大使公邸人質占拠事件を踏まえ、中南米を含めテロ多発地域の在外公館の警備を強化するために今年度一般会計予算の予備費から20億7000万円を充てることを決定。(AH)
1. 19	キューバ	大阪で開かれていた柔道ワールドカップ女子団体トーナメントでキューバチームが圧勝。初代女王の座を獲得。(YU)
1. 27	アルゼンチン	アルゼンチンで活躍する日本人バンドネオン奏者、米山義則が初の全国公演をスタートする。(YE)

1. 27	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件で、装甲車が周回するなど公邸周辺で続くペルー政府の軍事的威圧行動に対して、政府は現地対策本部を通じて懸念を伝達する。(YU, YE, NK, AH)
2. 1	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件をめぐり、橋本首相とフジモリ大統領がカナダで首脳会談。両首脳はペルー政府とトゥパク・アマル革命運動(MRTA)による予備的対話を推進することで合意。また会談後の共同記者会見で事件の平和的解決をめざすことで両国が一致。(YU, YE, NK, NE)
2. 4	ペルー	橋本首相、閣僚懇談会でフジモリ大統領との首脳会談について、ペルー政府と24時間通じるホットラインなど緊密な協力体制ができた旨を報告する。(AH)
2. 5	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件に関する報道で、外務省はスペイン語「ウソ・デ・フェルサ」の邦訳をこれまでの「武力行使」から「実力行使」に変更することを決定。(AH)
2. 21	ペルー	今月上旬から続いた豪雨による被害を受けた同国に対し、10万ドルの緊急無償援助を行うことが閣議で決定。(NE, AH)
2. 26	ペルー	ペルー政府とトゥパク・アマル革命運動(MRTA)による予備的対話について、橋本宏外務報道官は両者の主張に依然隔たりがあり、早急な進展が望めない状態であることを示唆。(YU)
3. 10	ウルグアイ	外務省人事。ウルグアイ大使に石和田洋日本学術会議事務局長を任命。(YE, NE)
3. 10	メキシコ	セディジョ大統領、日本人のメキシコ移住100周年記念行事参加のため来日。11日には天皇、皇后両陛下とご会見。(YU, YE, NE)
3. 12	メキシコ	来日中のセディジョ大統領、参院本会議場で衆参両院議員を前に演説を行う。(YE)
3. 12	メキシコ	橋本首相、セディジョ大統領との首脳会談で同国の上下水道整備計画に対し総額241億円の円借款供与を行う意向を表明。(YU, NK)
3. 13	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件に関連して、日本政府はペルー政府が公邸敷地内の地下にトンネルを掘っていたことについて初めて公式に認める。(YU)
3. 17	中南米	日本大使公邸人質占拠事件に関連して、高村外務政務次官、ペルー、キューバ、ドミニカ共和国に向け出発。各国首脳と会談する(～23日)。(YU, NK)
3. 18	ペルー	ペルー入りした高村外務政務次官、フジモリ大統領と会談。予備的対話の進行を速めるように要請、これに対し大統領は、事件の早期平和的解決に努力する旨再度強調する。(YE, NK, NE)

3. 19	キューバ	ペルーの日本大使公邸人質占拠事件に関連して、橋本首相の特使として派遣された高村外務政務次官、カストロ国家評議会議長と会談。同議長、犯人グループのトゥバク・アマル革命運動 (MRTA) のメンバー受入れを正式に表明する。 (YU, NE, NK)
3. 21	ドミニカ共和国	日本大使公邸人質占拠事件に関連して、高村外務政務次官はフェルナンデス大統領に対し、犯人グループ受入れを要請する橋本首相の親書を手渡す。(YU, NE, NK)
3. 23	ブラジル	警視庁薬物対策課などは同日までに、コーヒーの紙袋に粉末コカイン約20キロ(末端価格で約六億円)を詰め密輸を図ろうとした容疑者3人について麻薬および向精神薬取締法違反の疑いで逮捕。(YU)
3. 24	ブラジル	日本輸出入銀行、同国営石油会社ペトロブラスと2億5000万ドルの信用供与契約を結ぶ。輸銀のペトロブラス向け信用供与は17年振りとなる。(NK)
3. 31	ウルグアイ チリ	外務省人事。免、角田勝彦駐ウルグアイ大使および杉野明駐チリ大使。
4. 1	中南米	外務省人事。中南米局長に田中克之サンパウロ総領事を任命。(YU, NE)
4. 7	キューバ	ロバイナ外相、非同盟諸国外相会議の開かれたニューデリーで小和田国連大使と会談。(YU, YE)
4. 7	ペルー	ホイワイ国会議長、来日。橋本首相、高村外務政務次官と会談。日本政府は同議長を通じて事件の早期解決に向け努力するようフジモリ大統領に要請。(YU, NE)
4]. 10	ブラジル	同国在住の画家マナブ間部氏の展覧会が新潟で開催(～22日)。以後広島、東京を巡回する。(NK)
4. 16	バハマ	アカデミー賞俳優でバハマの駐日大使に就任したシドニー・ポワチエ氏、天皇陛下に信任状を捧呈。(NE)
4. 16	ブラジル	外務省人事。在サンパウロ総領事に堀村隆彦中南米審議官を任命。
4. 17	キューバ	高村外務政務次官、来日中のロバイナ外相と会談。キューバ政府がペルーの日本大使公邸人質占拠事件の犯行グループの受入れを表明したことに謝意を表明。(YE)
4. 17	キューバ	「日本キューバ友好親善交流会」(相沢修平会長・在米国)のメンバー6人が同国を訪問。日本語教材不足に悩むハバナ大学日本語講座にコピー用紙5000枚を寄付。(YE)
4. 17	キューバ	ロバイナ外相来日。ペルー日本大使公邸人質占拠事件について橋本首相、池田外相らと会談。(NK, NE)

4. 22	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件で、ペルーの3軍および警察の特殊部隊が公邸に突入、全邦人を含む71人の人質を救出。事件解決のニュースを受け橋本首相はフジモリ大統領に電話で謝意を表す。(YE)
4. 23	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件の解決を受け、池田外相がペルーに向け出発。フジモリ大統領ら関係者と会談する。(YU, NE, NK)
4. 24	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件解決を受け、衆院本会議においてペルー政府や保証人委員会などへ感謝の意を表す決議が採択。(NE)
4. 28	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件で人質として公邸内に拘束されていた青木盛久ペルー大使を始め同大使館館員が帰国。(YE, NK, NE)
4. 29	中南米	春の叙勲で、松本孝元日墨協会会長など複数のラテンアメリカ在住の日系人が受賞。(NK)
5. 1	中南米	外務省人事。中南米局参事官に島内憲大臣官房報道・広報担当参事官を任命。(NK)
5. 2	チリ	日本通運が同国に全額出資の現地邦人を設立したと発表。中南米での現地邦人はブラジル、メキシコに次ぐ3カ国目となる。(NK, NS)
5. 6	ペルー	外務省人事。ペルー公使に成田右文内閣情報調査室次長を起用、また池田外相は同氏を当面臨時代理大使とする考えを示唆。(YU, NE)
5. 6	ブラジル	同国の鉄鉱石鉱山会社で世界大手のバレ・ド・リオドセの民営化入札で、12社からなる日本の企業連合は敗退。(NE, NS)
5. 9	メキシコ ジャマイカ	秋篠宮同妃殿下、メキシコ、ジャマイカをご訪問。12日には日本人メキシコ移住100周年記念行事に出席される(～22日)。(YU, NK, NE)
5. 9	ペルー	政府はペルー日本大使公邸人質占拠事件の救出作戦の際犠牲となった2人の特殊部隊隊員に勲章を贈ることを決定。(YE, NE)
5. 9	ペルー	橋本首相、ペルー訪問(～12日)。(YE)
5. 10	ペルー	橋本首相、日本大使公邸人質占拠事件解決についてフジモリ大統領に謝意を表明。これに対し大統領は「両国がテロリズムに対し毅然として対応した」と強調。(YU, NK)
5. 11	メキシコ	メキシコシティおよびチアパス州で日本人メキシコ移住100周年記念式典が開催。(～14日)
5. 11	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件の解決を受け、市内のホテル内に設置されていた日本外務省現地対策本部が解散。(NK)

5. 12	メキシコ	メキシコ移住100周年記念式典に衆議院から斉藤斗志二（自民）、江崎鉄磨（新進）、奥田敬和（太陽）、参議院から浦田勝（自民）、福本潤一（平成会）の5名の議員が参加。 （YU）
5. 16	ペルー	政府は同日の閣議で、日本大使公邸人質占拠事件の責任により、青木盛久大使を解任することを正式に決定。（YE, NE）
5. 20	アルゼンチン コロンビア	参議院創設50周年を記念して、世界8カ国の上院議長を招待し、上院議長会議を開催。南米からはルカウフ議長（アルゼンチン）、ロンドーニョ議長（コロンビア）が来日（～21日）。（YU）
5. 23	ペルー	都内のペルー大使公邸で、青木盛久前ペルー大使に対し同国最高位の「ペルー太陽勲章第十位」が授与される。 （YU）
5. 26	ブラジル	カンジール企画相、訪日（～30日）。
5. 27	コロンビア	化粧品会社の資生堂、98年5月から同国で化粧品販売を始めると発表。地元の代理店を通じ大都市の百貨店などで販売を行う予定。（NK）
5. 30	アルゼンチン ブラジル	天皇・皇后両陛下、ブラジルとアルゼンチンご訪問のため出発（～6月13日）。（NK, NE, YE）
5. 30	ブラジル	日本企業による対ブラジル投資・貿易促進のため日本輸出入銀行とブラジル企画省が相互協力協定を調印。輸銀は日本企業にブラジルの民営化や企業育成プロジェクトなどに関する情報を提供。（NK）
6. 1	ブラジル	ブラジル訪問中の天皇・皇后両陛下、最初の訪問地ベレン市で日系人主催の歓迎式典に臨まれ、出席した約900人の日系人から熱い歓迎を受ける。（YU, YE, NE）
6. 2	ブラジル	天皇・皇后両陛下、カルドーゾ大統領夫妻主催の晩餐会で、多くの日本人移住者を受け入れてきたブラジル国民に対し感謝の意を表すお言葉を述べられる。（YE）
6. 3	ブラジル	同日午前、天皇陛下がブラジリアにある連邦議会を訪問、下院本会議場でスピーチ。即位後の外国議会訪問は初めてとなる。なお午後は日本大使館で開かれた日系人主催の歓迎行事に臨まれる。（YU, NK, NE）
6. 5	ブラジル	天皇、皇后両陛下、サンパウロで日系人主催の歓迎行事にご出席。会場のイピラプエラ体育館には約1万人の日系人が詰めかけ、両陛下を歓迎。翌6日にはサンパウロ大学を視察された他、日系人老人福祉施設「憩いの園」を慰問される。 （YU, YE, NK, NE）
6. 7	ブラジル	ブラジルを公式訪問中の天皇・皇后両陛下、クリチバ市を訪問。日系人1万人あまりの歓迎を受けられる。翌8日にはリオデジャネイロでの歓迎式典に臨まれる。（NK, NE）

6. 9	アルゼンチン	アルゼンチンを公式訪問中の天皇・皇后両陛下、メネム大統領との会見並びに大統領主催の晩餐会など一連の公式歓迎行事にご出席。(YE, NK, NE)。 (~10日)
6. 12	ペルー	外務省の在ペルー日本大使公邸人質占拠事件調査委員会がまとめた報告書(全文93ページ)が発表される。公邸周辺の警備体制について不備があった点を認める内容。(YE, NK)
6. 13	メキシコ	「メキシコ映画祭」が東京・青山の草月ホールで開催 (~22日)。(NE)
6. 16	ブラジル	福井県丸岡町の雑木林で日系ブラジル人2人が他殺体で見つかった事件で、県警捜査本部は2人の知人で人材派遣業者を殺人・死体遺棄の容疑で逮捕。(YE, NE)
6. 21	チリ	亀井建設相、サンティアゴで開催されるアジア太平洋地域建設担当閣僚会議に出席するため出発。(YU)
7. 1	ペルー	外務省人事。駐ペルー大使に小西芳三南アフリカ大使を任命。(YE, AE)
7. 1	ニカラグア	外務省人事。駐ニカラグア大使に伊藤勝日本道路公団調査役を任命。(YE)
7. 2	ペルー	フジモリ大統領、来日。日本大使公邸人質事件解決後初めての来日となる。(YE, NK, NE, AH)
7. 3	ペルー	橋本首相、来日中のフジモリ大統領と会談。首相は大統領が取り組んでいる貧困撲滅対策を支援するため総額426億ドルの円借款を供与する方針を述べる。また同日、天皇・皇后両陛下が大統領と会見される。(AH, AE)
7. 4	チリ	6月中旬の集中豪雨による洪水で大きな被害を受けた同国に対し、10万ドルの緊急無償援助を行うことを閣議で決定。(YE)
7. 4	ペルー	来日中のフジモリ大統領、稲葉日商会頭ら経済界首脳との昼食会に出席、挨拶の中でペルーへの投資拡大を要請。(NK)
7. 10	ペルー	外務省人事。在ペルー日本国大使館参事官に梅田邦夫アジア局地域政策課長を任命。(NK)
7. 10	中南米	外務省人事。中南米局中南米第一課長に水上正史経済協力局開発協力課長を任命。
7. 19	南米	松本秀男慶応義塾大学整形外科講師を団長とする同大医学部生3人が「第20回慶応大学国際医学研究会南米派遣団」としてブラジル、ポリビアに向け出発。2ヶ月間の予定で南米の医療事情、伝統医療などを学ぶ。(YE)
7. 19	ブラジル	ファベラの子どもたちを支援する目的で70年にサンパウロ市に設立された児童劇団「エストレーラ・デ・アマニャン」(明日の星)が来日公演を東京で開催 (~21日)。(YE, AH)

7. 22	ボリビア	8月6日に行われる大統領就任式典に山下徳夫衆院議員を特別大使として派遣することが閣議で決定。(NE)
7. 25	アルゼンチン	外務省人事。在アルゼンチン日本国大使館公使に吉原修ロサンゼルス総領事館領事を任命。
7. 25	ペルー	同国の週刊誌に掲載されたフジモリ大統領の出生疑惑(ペルー生まれとする公式発表に対する疑惑)について、大統領の弁護士フエンテス元労働相がその報道内容を強く否定。(AE)
7. 28	バハマ	バハマの伝統音楽「ジャンカヌー」を取り入れた演奏で知られる7人組バンド「バハメン」の来日公演が東京、名古屋、大阪、福岡で行われる(～8月2日)。(NE)
7. 30	メキシコ	結成100年の歴史をもち、魅力的なアンサンブルを聴かせるグループ、マリアッチ・バルガス・デ・テカリトランがグアラハラ民族舞踊団とともに来日、東京で公演を行う。(YE)
7. 31	ブラジル	日本輸出入銀行と米州開発銀行(IDB)はそれぞれ7億5000万ドルの協調融資を行うと発表。おもに輸出産業の育成と高速道路の建設に向けられ、ブラジル側も約3億ドル拠出し、3者で約20億ドル近い案件となる。(NE)
8. 1	パラグアイ	外務省人事。駐パラグアイ大使に久保光弘バルセロナ総領事を任命。(YE)
8. 1	コスタリカ	外務省人事。駐コスタリカ大使に杉内直敏シアトル総領事を任命。(YE)
8. 1	中南米	外務省人事。中南米審議官に島内憲中南米局参事官を任命。(NK)
8. 1	中南米	外務省人事。中南米局中南米第二課長に越川和彦経済局国際経済第一課アジア欧州協力室長が任命。(NK)
8. 1	ブラジル	外務省人事。在ポルトアレグレ総領事に戸田勝規リオデジャネイロ総領事館領事を任命。(NK)
8. 1	ブラジル	海外経済協力基金(OECF)は風力発電所建設費用として約60億円の円借款を供与することを決定。発電所は東北部セララ州に2カ所建設され、これにより同州の総電力供給量の5%がまかなわれることになる。(YU)
8. 10	ブラジル	外務省人事。在ブラジル国日本大使館参事官に高川定義ニューヨーク総領事館領事を任命。
8. 11	コスタリカ	通産省、同国向け中長期貿易保険の引き受け(1981年に日本への債務返済遅延が発生して以来停止)を8月18日から再開すると発表。(NK)
8. 13	ブラジル	サッカーの国際親善試合で日本代表とブラジル代表が対戦。ブラジル代表が3-0で圧勝(於大阪・長居スタジアム)。(NK)

8. 13	ペルー	フジモリ大統領の出生地疑惑問題で同日までに新しい事実が明らかにされる。それによると同大統領の出生届は、リマ市役所に提出されたのとほぼ同じ時期に日本領事館にも提出されていたことが確認。(AH)
8. 15	トリニダッド・トバゴ	外務省人事。在トリニダッド・トバゴ日本国大使館参事官に諏訪潔シカゴ総領事館領事を任命。
8. 20	グアテマラ	外務省人事。在グアテマラ日本国大使館参事官に重光甫彦キューバ日本大使館参事官を任命。
8. 30	チリ	フレイ大統領、来日(～9月3日)(NK)。
8. 30	キューバ	同国の非政府組織(NGO)などを対象とした「小規模無償資金援助」の枠組み合意文書の調印式が行われる。日本側は田中三郎キューバ大使、キューバ側はフェラダス外国投資経済協力相が出席。(YU)
9. 1	チリ	日本チリ修好100周年記念行事参加のため来日したフレイ大統領、橋本首相と会談。首相はチリが実施する中南米諸国への「南・南協力」(一定の経済水準の国が他の発展途上国を支援すること)を支援する方針を表明。(YU)
9. 1	チリ	来日中のインスルサ外相、池田外相と会談。チリが行う南・南協力に対する日本の支援などについて意見交換を行う。(NK)
9. 2	チリ	日本チリ修好100周年記念式典が東京で開催。(NK)
9. 2	チリ	来日中のフレイ大統領、天皇・皇后両陛下と皇居で会見、昼食をともにされる。大統領は両陛下に対し、チリ訪問を要請。(AH)
9. 4	ペルー	青木盛久前ペルー大使を近くアフリカ担当大使に起用することを決定。(AE)
9. 8	エクアドル	外務省人事。エクアドル大使に鈴木邦治ブラジル・ポルトアレグレ総領事を任命。(YE, NE, AE)
9. 8	ペルー	「第5回日本ペルー経済協議会」が2日間の日程で東京で開催。貿易、投資など様々な分野で両国が協力していくことが確認される。(AH)
9. 8	ブラジル	サンパウロで身代金目的で誘拐された日系人少年が同日夜、射殺死体となって発見される。少年の遺体が発見された家に住む警官とその同僚を逮捕。(AE)
9. 16	メキシコ	三菱電機、メヒカリ市にパソコンモニター用のブラウン管工場を建設することを決定。98年10月に生産開始の予定。(NK)

9. 17	ペルー	同日付けの有力紙エルコメルシオによると、同国北部カハマルカ州のクントゥル・ワシ遺跡を調査中の大貫良夫東京大学教授の発掘チームが紀元前1000年頃のものと思われる黄金装飾品7点を発見、一部を公開する。(NE)
9. 17	チリ グアテマラ	常陸宮殿下・妃殿下、チリとグアテマラ訪問にむけ出発。グアテマラ訪問は皇族としては初めてとなる。チリでは日本チリ修好100周年記念行事に出席される予定。(AE)
9. 23	メキシコ	邦銀7行(主幹事住友銀行)、同国公共事業銀行に2億5000万ドルの融資を行うことに合意し調印。94年の通貨危機後初の協調融資となる。(NE)
9. 23	チリ	東京商工会議所訪南米ミッション(総勢60人)と日本チリ経済合同委員会(総勢100人)が相次いで同国を訪問。チリとの経済関係を強化することで一致。(NK)
9. 24	チリ	チリ日本修好100周年記念式典がサンティアゴで開催。
9. 24	ブラジル	サンパウロ・ピエンナーレ国内大賞、パリ青年ピエンナーレ最高賞などを受賞、「ブラジルのピカソ」と呼ばれた同国を代表する日系人画家マナブ間部氏、サンパウロ市内で死亡。(YU, AH)
9. 28	中南米	今年で8回目を迎える「カリビアン・カーニバル」にプエルトリコ出身のエル・グラン・コンボ(サルサ)などを迎え、東京・日比谷で開催。(AE)
9. 29	ドミニカ	1950年代後半に同国に渡った移住者の代表12人が帰国。当時の日本政府の移民政策の甘さや移住条件の不履行などを訴え、救済を求める。(YU, AH)
9. 29	ペルー	現地発の外電が地元当局者の話として伝えたところによると、人質事件の舞台となった日本大使公邸を取り壊し、平和公園として整備する計画が浮上中。外務省の柳井事務次官も「良いアイディア」とのコメントを発表。(AH)
10. 3	ドミニカ共和国	来日中のドミニカ移民の代表16人が外務省に対し当時のドミニカ移民計画について謝罪と賠償を求める要望書を提出。(AE)
10. 5	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件でペルー政府と犯人グループの仲介役であったシプリアーニ大司教、訪日(～15日)。翌6日には同じく来日したトゥデラ前外相とともに橋本首相と会談。首相は事件解決に向けた2人に活動に対し謝意を表明。(YU, NK, AH)
10. 6	ペルー	来日中のシプリアーニ大司教、日本記者クラブで会見。日本大使公邸人質占拠事件を振り返り平和的解決に至らなかった無念さを改めて強調。(NK)
10. 7	ドミニカ共和国	ドミニカ移住問題について、高村政務次官が来日中の移民代表者らと面会。政務次官は政府として前向きに検討すると述べる。(AH)

10. 9	メキシコ	日産自動車、「メキシコ日産自動車会社」が行う2億5000万ドル（約300億円）の増資を引き受けると発表。これによりメキシコ日産は設備を増強、米国向け乗用車（セントラ）の全量生産を99年11月よりスタートさせる。（YU）
10. 14	メキシコ	政府は大型ハリケーンの被害を受けた同国に対し、総額1700万円相当の緊急援助物資を送ることを決定。（YU）
10. 14	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件の舞台となった公邸の取り壊しが開始。（NK, AE）
10. 14	ペルー ボリビア	政府の招きで来日したボリビアのグムシオ駐ペルー大使、都内で行われた記者会見で日本大使公邸人質事件について語る。（AE）
10. 17	ブラジル	住友電装は自動車用低圧電線を生産する合併会社をミナスジェライス州に設立、98年6月から生産開始すると発表。新会社名は「カベルロート・ブラジル」で、現地のワイヤーハーネスメーカーに電線を供給する。（NK, NS）
10. 20	エルサルバドル	カルデロン大統領、訪日（～23日）。
10. 20	コロンビア	警察庁などは、日本に連れてきたコロンビア女性に渡航費用と称して売春を強制していたグループを摘発、同日までに暴力団幹部らを出入国管理法違反で逮捕。（NE, AE）
10. 29	ブラジル	日本興業銀行、ブラジルの投資銀行であるSRL銀行と業務提携契約を結ぶ。同国に進出する日系企業向けに貿易取引への融資、買収・合併の支援などを行う。（NK）
11. 9	メキシコ	同大蔵省の発表によると、アジアの金融危機の影響による為替・株式市場の混乱を回避するため、日本、米国、欧州10カ国、31の金融機関から25億ドルの緊急融資を受けることに決定。参加する主な邦銀は東京三菱、富士、日本興銀、住友の各銀行と大和証券。（AE）
11. 10	ペルー	日本大使公邸人質事件で、保証人委員会のメンバーの1人、赤十字国際委員会（ICRC）のミニグ前ペルー駐在代表が来日。同日都内で行われた記者会見で「最大の困難はICRCの政治的中立を保つことであった」と語る。（AH）
11. 12	ボリビア	日本赤軍のメンバーで77年の「ダッカ事件」で国際手配されていた西川純容疑者の身柄を同国南部のサンタクルスで拘束。同容疑者はその後国外退去処分となり、18日に日本に強制送還となる。（YE, NK, NE）
11. 20	メキシコ	シャープは同国に家電生産子会社を設立したと発表。会社名は「シャープ・エレクトロニカ・メキシコ」で主に米国や中南米市場向けにカラーテレビと掃除機を生産する。（NK, NS）

11. 20	メキシコ	日本電気硝子は住友商事と組み、米国国境に近いメヒカリ市にブラウン管用ガラスの生産工場を設立すると発表。中南米のカラーテレビ市場や米国のパソコン市場の拡大に対応する動き。(NK, NS)
11. 25	ペルー	金属鉱業事業団によると同国中部で亜鉛鉱化帯が発見。三井金属が保有する鉱区で、昨年度までに見つかった分と合わせると約1500万トンの鉱量と推定される。(NK, NS)
11. 30	ペルー	リマの在ペルー日本大使館は同日までに、今年の天皇誕生日のレセプションは中止することに決定。(AH)
12. 2	ジャマイカ	外務省人事。駐ジャマイカ大使に松本俊スラバヤ総領事を任命。(YE, AE)
12. 4	アルゼンチン ジャマイカ	サッカー・ワールドカップフランス大会(1998年6月開催)の組み合わせ抽選会の結果、日本は一次リーグH組で、アルゼンチン、ジャマイカ、クロアチアと対戦することが決定。(YE, NE)
12. 5	アルゼンチン メキシコ	NKKは南米大手のシームレス鋼管メーカー2社(アルゼンチンのシデルカ社とメキシコのタムサ社)と販売提携することで合意。これら2社との提携でNKKはシームレス鋼管生産量のほぼ一割を占めることになる。(NK, NS)
12. 5	ブラジル	トヨタ自動車、同国で小型大衆車(リッターカー)の生産を開始すると発表。欧州工場と部品融通も視野に入れ、販売シェアの拡大を目指す。現在建設中(サンパウロ近郊)の工場で1998年末から生産開始に踏み切る。(AH)
12. 6	ペルー	東京写真記者協会の「97年度東京写真記者協会賞」にペルー日本大使公邸人質事件を扱った読売新聞社の記者2名の作品が受賞。(NK)
12. 9	ペルー	日本大使公邸人質占拠事件発生から1年を迎えるにあたり、フジモリ大統領が大統領府で邦字紙との記者会見に応じる。大統領は今後もテロ組織の壊滅を目指すとの方針を明らかにする。(AH)
12. 12	バハマ	外務省人事。松本俊駐ジャマイカ大使を兼バハマ大使に任命。
12. 12	ブラジル	新日本製鉄はブラジル大手の鉄鋼会社ウジミナス(USIMINAS)と合併で自動車などに使用する溶融亜鉛めっき鋼板を1999年末以降生産する計画を発表。トヨタなど日本の自動車メーカーのブラジル進出をねらったもの(AH)。
12. 18	ペルー	ペルーに日本大使公邸人質事件から1周年を前に、橋本首相、同事件の「重さ」(犠牲者が出たこと)を改めて記者団に語る。(AH)
12. 19	ペルー	ペルー滞在中に偽造有印公文書行使などの罪に問われ、日本に強制送還された日本赤軍メンバー吉村和江被告に対し、東京地裁は猶予判決を言い渡す。(NK)

12. 19	ペルー	今年7月にアマゾン川のいかだ下りに出発した早稲田大学探検部部員2人が10月下旬以降音信不通になっていることが今日までに判明。同大学や外務省が現地の日本大使館などと連絡をとり安否の確認を始める。(NE, AE)
12. 21	アルゼンチン	外務省人事。アルゼンチン大使に木島輝夫国際協力事業団理事を任命。(YE)
12. 25	ペルー	ペルー警察が明らかにしたところによると、行方不明になっている早稲田大学探検部部員2人について、消息をたった当時の状況を知っているとみられるペルー人男性4人を拘束、事情聴取を開始。(AH, AE, NE)
12. 25	ペルー	ペルー警察によると、先に拘束したペルー人男性4人のうち2人が早大探検部部員2人の殺害を自供、犯行について陸軍監視所の軍曹からの指示で行ったと供述。外務省で情報の確認を行う。(NE)
12. 25	ペルー	早大生2人がアマゾン川上流で殺害されたとみられる事件で、ペルー国家警察は殺害を指示したとされる軍監視所の軍曹ら4人を解任。また27日には当時軍監視所にいた12人の兵士についても犯行に関与したとして拘束、取り調べを開始。(NE)
12. 29	ペルー	早大探検部部員2人がアマゾン川上流で行方不明になった事件で、ペルー国家警察は発見された2遺体を早大生のものと確認。また強盗殺人の容疑で陸軍監視所の元兵士16人(事件発覚後免職)を送検する。(YU, YE, NK, NE, AH)

(以上154項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

<u>新聞名</u>	<u>朝刊</u>	<u>夕刊</u>
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1998年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 21(2)
Issue Date	2000-01-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9467
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1998年－

月 日	国名	記事
01. 01	メキシコ	日本ビクターのメキシコ現地法人のテレビ工場が、環境管理の国際規格ISO14001の認証を取得したと発表。(NS)
01. 05	ペルー	昨年末、ペルー北東部で陸軍監視所の兵士に殺害された早稲田大学探検部の学生2人の仮葬儀がペルーで行われた。遺骨と家族は9日に帰国。(YU, YE, AH, AE, NE)
01. 09	ペルー	トヨタ中古自動車販売は、2月からペルーへの中古車輸出を始める と発表。中古車需要の高い同国でのトヨタ車の認知度を高めるのが目的。(NS)
01. 19	メキシコ	協和発酵が米国とメキシコにある飼料用添加物の生産子会社の設備増強を発表。(NK)
01. 19	コロンビア	小渕外相とメヒア・コロンビア外相が会談、日本の国連安保理事 国入りを念頭に置いた上で、非同盟諸国の動きへの協力を要請した。(AH)
01. 20	アルゼンチン	現代タンゴ界最高のバイオリニストの一人、マウリシオ・マル チェリが自己の楽団を率いて来日。4月まで日本各地で公演を行っ た。(LA)
01. 21	アルゼンチン	外務省人事。木島輝夫国際協力事業団理事を駐アルゼンチン大使 に任命。(YE, NE, IL)
01. 21	ドミニカ共和国	外務省人事。赤澤正人在デュッセルドルフ総領事を駐ドミニカ共 和国大使に任命。(YE, NE, IL)
01. 23	ペルー	4年前、栃木県で行方不明になっていた日系ペルー人女性の遺体が 発見され、元同僚を容疑者として逮捕した。(YU)
02. 04	ジャマイカ	映画「クールランニング」のモデルとして知られるジャマイカの ボブスレー・チームが来日。長野で行われた冬季オリンピック出 場のため。(YE)
02. 05	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ市の観光地コルコバードの丘のケーブル式 電車が強盗に襲われた事件で、ルイス・コンデ市長が日本人を含 む被害者28人を招いて謝罪、現金やカメラなど奪われたものを弁 償することを表明。(NE)
02. 06	パナマ	パナマ運河の大西洋側入り口で、フランスから日本に送還される 高レベル放射性廃棄物を積んだ英国の専用輸送船に、国際環境保 護団体グリーンピースのメンバー3名が乗り込み、運河警備当局者 に連行された。(AE)
02. 07	メキシコ	埼玉県立近代美術館で「メキシコ現代版画と日本」展開催(-3月22 日)。ルフィーノ・タマヨ、北川民次らの作品が展示された。(YE)
02. 08	ブラジル	NHKのど自慢がブラジル・サンパウロで開催された。日系人を中心 に多くのブラジル人が参加した。(YE, NK)

02.09	チリ	日本-チリ修好100周年記念セミナーが開催された。場所は国際交流基金国際会議場。(IL)
02.13	メキシコ	メキシコの非政府組織「カサ・アリアンサ・メヒコ」の活動として、元ストリート・チルドレン4人が来日、都内で写真展などの催しが行われた。(AH)
02.17	ドミニカ共和国 ハイチ	外務省人事。赤澤正人駐ドミニカ共和国大使を兼ハイチ大使に任命。(YE,AE,IL)
02.17	ブラジル	ブラジルの最大日刊紙フォリャ・デ・サンパウロ紙が数年ぶりに東京支局を復活させた。アジア政治・経済情報の拠点となる。(NS)
02.18	キューバ	日本人キューバ移民100周年の記念行事がスタート。(NE)
02.20	ブラジル	舞踊家の田中泯がアルト作「メキシコの征服」を原作とした舞踊「征服」を、ブラジル人舞踊家を招いて上演。(AE)
02.25	メキシコ	日本人のメキシコ移住100周年を記念し、東京で「愛と革命 炎の絵画展 メキシコの美術・1920-1950」が開催された。(3月9日)(YU)
02.25	ブラジル	キノコを用いた健康食品製造業の日本バイオが、長崎県の五島列島にブラジル原産のキノコ、アガリクスの量産工場を設立すると発表。(NS)
02.25	ペルー	神奈川県相模原でペルーを代表する画家イポリト・ママニ・キスベの絵画展が行われた。(LA)
02.26	ペルー	ペルー日本大使公邸人質事件で射殺されたMRTAの最高幹部ネストル・セルパ容疑者ら犯人グループ3人を人質強要処罰違反などの疑いで東京地検に書類送検された。(YU,AH,NK)
03.02	ペルー	NHKが昨年放送したペルー日本大使公邸人質事件に関するドキュメンタリー「突入～日本大使公邸人質事件の127日間」がモンテカルロ国際テレビ祭のドキュメンタリー部門で優秀賞を受賞。(YE)
03.05	ブラジル	外務省人事。中田勝己在南アフリカ日本国大使館参事官を在ベレン総領事に任命。(IL)
03.05	ブラジル	外務省人事。小林健一衆議院安全保障調査室主席調査員を在マナオス総領事に任命。(IL)
03.05	ブラジル	外務省人事。船越博在レシフェ総領事を在ラスパルマス総領事に任命。(IL)
03.10	パラグアイ	外務省人事。鎌田寿正在ウルグアイ日本国大使館参事官を在パラグアイ日本国大使館参事官に任命。(IL)
03.11	メキシコ	日本人メキシコ移住100周年・日墨修好110周年シンポジウム「新世紀の日墨関係-NAFTAの現状と将来をみすえて」が外務省国際会議場で開催された。(IL)
03.15	ブラジル	外務省人事。池田徳次在外公館課現地職員管理官を在レシフェ総領事に任命。(IL)
03.15	ボリビア	観光地チチカカ湖に浮かぶ「太陽の島」で日本人2名を含む観光客が、旅行会社と先住民の土地をめぐるトラブルに巻き込まれ、約1時間博物館に閉じこめられた。(YU)

03. 18	キューバ	キューバの対日民間債務繰り延べ交渉が決着・調印。約1000億円のリスケジュールを行うことを決定した。(NK,NS)
03. 18	ブラジル	日本輸出入銀行と東京三菱銀行、安田海上火災保険など日本の民間金融機関6社がブラジル・トカンチンス州政府の送配電網プロジェクトに92億円の協調融資を実施すると発表。(NK)
03. 19	中南米	クラリオンが中南米市場向けの販売会社クラリオン・ラテンアメリカを設立すると発表。(NK,NS)
03. 23	中南米	米州開発銀行が準備を進めている「ジャパン・プログラム」構想実現のため、日本が数億円供出する予定であることが国際金融筋により明らかにされた。このプログラムはアジアの通貨危機の経験を中南米で生かそうというもの。(YE)
03. 23	ブラジル	ボサノヴァ生誕40周年を記念したコンサート・シリーズの第1弾として、歌手のワンダ・サーと、ギタリストのロベルト・メネスカルが来日。東京と神戸のレストランで公演を行った。(LA)
03. 24	ベネズエラ	石油公団がベネズエラ石油公社と石油開発技術の共同研究で包括協定を締結。(NK,NS)
03. 26	ペルー	日本政府は大規模な洪水被害に見舞われているペルーに総額2500万円の緊急援助を実施する事を決定した。(NE)
04. 01	ブラジル パナマ ベネズエラ	商船三井がパナマ・カリブ・マナウス航路の主要港への寄港を増便。ブラジルやベネズエラの日系電機メーカーなどの需要に応えたもの。(NS)
04. 02	コロンビア	不法滞在中のコロンビア人男性と借金を抱えた女性を偽装結婚させたとして、消費者金融関連会社役員らを逮捕。コロンビア人男性は役員に謝礼を渡していた。(AE)
04. 03	コロンビア	国際電信電話(KDD)が、日本とコロンビアの間でも、日本語案内にしたがって相手に国際電話をかけられる「スーパー・ジャパン・ダイレクト」サービスを開始。(NS)
04. 08	キューバ	母国キューバを脱出しバハマで保護されていた元キューバ野球代表チームのホルヘ・ルイス・トカ選手が来日。アメリカか日本でプレーする事を希望。(YU,AH,NK)
04. 08	ブラジル ウルグアイ	DDIが米モトローラ社、日商岩井と組んで計画していたブラジルでの携帯電話事業について、現地政府から事業免許を取得したことを発表。営業開始は99年3月の予定。(NK)
04. 10	アルゼンチン	ヨーロッパ各地で好評を博したアルゼンチンのタンゴ・ショウ「タンゴ・パッション」が初来日、東京で公演を行った。(YE,LA)
04. 17	メキシコ	「日墨二十一世紀委員会」出席のため、メキシコのゴンサレス・ガルベス外相特別補佐官が来日。(AH)
04. 23	ペルー	リマのペルー大使公邸人質事件解決1周年を記念して犠牲者の追悼式典が行われた。(YE,NE)
04. 29	中南米	春の叙勲で、アルゼンチン人1名、ブラジル在住の邦人2名、アルゼンチン在住の邦人1名が受章した。(AH)
05. 01	ブラジル	宮沢元首相がブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されるOBサミット出席のため出発。(YE)

05.02	メキシコ	青木建設が南米に所有するホテル3件を、メキシコの手ホテル会社グルーボ・ボサーダスに売却。総額は1億2270万ドル。(NK,NS)
05.06	ブラジル	サンパウロで第7回日本ブラジル経済合同官民会議が開催された。参加者は両国合わせ約300人。最終日には共同声明が採択された。(NK,IL)
05.11	アルゼンチン	地球温暖化防止京都会議で全体委員会議長を務めたエストラダ前駐中国アルゼンチン大使に勲二等瑞宝章が授与された。(NK)
05.11	コロンビア	東京中野区でコカイン1.1キロを所持していたとしてコロンビア人1名を逮捕。仲間のコロンビア人1名を指名手配した。(AE)
05.15	チリ	オスカル・フェンテス・ラソ氏が駐日大使として着任。(IL)
05.16	ペルー	小淵外相は外務省公館で日本大使公邸占拠事件の元人質らと懇談会を開いた。(YU)
05.16	アルゼンチン	日垂修好100周年を記念し、国立アルゼンチン交響楽団が初来日公演を行った。指揮はペドロ・イグナシオ・カルデロン、ゲスト演奏家にマルタ・アルゲリッチ、ダニエル・ビネリなど。(AE,LA)
05.19	アルゼンチン	アルゼンチンのバンドネオン奏者エルネスト・バッファが初来日。日本のオルケスタ・ティピカ東京といっしょに公演を行った。(LA)
05.19	ブラジル	ブラジルのベテラン・ギター奏者バーデン・パウエルが来日、全国公演を行った。(LA)
05.23	コロンビア	本年4月甲府市内の貴金属業者の車から貴金属が盗まれた事件で、すでに入管難民法違反で逮捕されていたコロンビア人2人を窃盗容疑で逮捕した。この事件での被害額は8300万円にのぼっていた。(YU,NK)
06.02	ポリビア 南米	大日本明治精糖が、アンデス地域原産で栄養価が高いことで知られる穀物キヌアの本格的輸入販売を開始すると発表。健康食品部門の柱として強化する予定。(NS)
06.06	ペルー	東京税関でペルーから発送された国際郵便小包2個の中からコカイン計4キロが発見された。(NK)
06.10	アルゼンチン	電動工具のマキタが、アルゼンチンに販売子会社「マキタ・アルゼンチンSA」を設立。ブラジルに次ぎ南米第二の拠点となる。(NS)
06.11	アルゼンチン	現代タンゴのアストル・ピアソラとイタリアの歌手ミルバによるショー「エル・タンゴ」が東京で再演された。今回ミルバと共演したのはバンドネオン奏者のダニエル・ビネリ率いる五重奏団。(LA)
06.11	ブラジル	ブラジル音楽のレニーニ&スザーノが昨年に続き来日。共演に宮沢和史など。(LA)
06.13	パナマ	北九州門司区の部埼灯台沖の周防灘でパナマ船籍のコンテナ船ベイ・ボナンザ号が沈没船に乗り上げた。乗組員は無事だった。(NE)
06.14	アルゼンチン	サッカー・ワールド・カップ初出場の日本が初戦でアルゼンチンと対戦、1対0で敗北した。(YE,AH,NE)

06.15	ペルー	昨年10月ペルー東部のアマゾン川上流域で早稲田大学探検部の学生が殺害された事件で、ペルー陸軍監視所の元兵士2名にそれぞれ終身刑、禁固20年の実刑判決が言い渡された。(YE,NE)
06.16	コスタリカ グアテマラ ニカラグア	日立製作所がICカード型電子マネー「モンデックス」関連の機器ビジネスを中南米地域で本格展開することを発表。すでにコスタリカで機器を一括納入しており、年内にはニカラグア、グアテマラにも納入の予定。(NS)
06.19	メキシコ	日本輸出入銀行は世界銀行グループのIFCなどとメキシコの火力発電所に協調融資を行うことを決定。(NK)
06.20	ブラジル	小淵外相がブラジル日本人移民90周年記念式典出席のためパラナ州ロンドリナに到着、カルドーゾ大統領と会談を行い、世界の核軍縮に取り組むことで一致した。翌日にはランブレイア外相との会談も行われた。(YU,AH,NK,NE,IL)
06.21	ブラジル	サンパウロでブラジル日本人移民90周年を祝う記念式典が催された。日本からは15県の代表が参加した。(YU,AH,NE)
06.22	ブラジル	ブラジル、ボサノヴァ時代の名門女性コーラス・グループ、クアルテート・エン・シーが昨年引き続き、来日公演を行った。(LA)
06.23	ホンデュラス	外務省人事。伊藤昌輝在リオ・デ・ジャネイロ総領事を駐ホンデュラス大使に任命。(YE,IL)
06.23	ブラジル	外務省人事。中島明文化交流部審議官を、在リオ・デ・ジャネイロ総領事に任命。(IL)
06.26	ジャマイカ	サッカー・ワールド・カップで日本チームはジャマイカと対戦、2対1で敗れた。これで日本は3戦全敗という結果に終わった。(YU,AE)
06.27	コロンビア	24日夜、東京都荒川区内の車内から1億8千万円相当の貴金属が盗まれた事件で、コロンビア人男性4人が窃盗の容疑で逮捕された。(YU)
06.28	ペルー	アルベルト・フジモリ大統領が訪日。(-7月1日)(YU,AH,IL)
06.28	メキシコ	東芝とゼネラル・エレクトリックが1999年春から火力発電所の主要機器の製造で分業を進めることを発表。蒸気タービンの回転翼を作る合弁会社をメキシコに設立する予定。(AH)
06.29	ウルグアイ	サンギネッティ大統領が訪日。(-7月1日)(IL)
06.29	アルゼンチン	アルゼンチン・バレエ界のスター、フリオ・ボッカが舞踊団を率いて初来日公演を行った。コンサートの第2部・第3部では初来日のタンゴ・ピアニスト、アティリオ・スタンポーネが共演。(LA)
06.30	中南米	第5回日本・ラテンアメリカ諸国経済交流シンポジウムが東京で開催された。(IL)
06.30	ベネズエラ	カルロス・エンリケ・ノネス・スクレ氏が駐日ベネズエラ大使として着任。(YU,IL)
06.30	ペルー	来日中のアルベルト・フジモリ・ペルー大統領、サンギネッティ・ウルグアイ大統領と橋本首相が対談。橋本首相はリマ市内に出している「観光旅行延期勧告」を一部地域に限定した「注意喚起」に緩和する方針を明らかにした。(YU,AH)

07.01	メキシコ	ラテン・コーラスの名門グループ、トリオ・ロス・パンチョスの全国来日公演始まる。トップ・ボイスはジョニー・アルビーノ。(LA)
07.02	ブラジル	ジャズのサクソ奏者渡辺貞夫が主催する「ザ・クラブ」にセザール・マリアーノ他ブラジル人音楽家が招かれ演奏。(NE)
07.03	ブラジル	ブラジルのベテラン女性コーラス・グループ、クアルテート・エン・シーが東京神宮前のサバス東京で2度目の来日公演を行った。(AE, LA)
07.07	ブラジル	ブラジルの人気歌手ガル・コスタが5年ぶり4回目の来日公演を行った。(-14日) (AE,LA)
07.10	ブラジル	金属鉱業事業団と国際協力事業団は、ブラジルのマツト・グロッソ州アルタフロresta地区で金と銅の鉱床検査を目的にした資源開発調査を開始したと発表。(NS)
07.17	パナマ	外務省人事。藤島安之通商産業省大臣官房付を駐パナマ大使に任命。(YE,NE,IL)
07.17	ペルー コロンビア	新潟市の駐車場で車から貴金属が盗まれた事件で、コロンビア人2名とペルー人が逮捕された。(NE)
07.21	ブラジル	1951年ボストン・マラソンで日本人として初めて優勝した田中茂樹さんの盗まれた金メダルが、建造物進入の疑いで逮捕されていたブラジル人の共犯者宅で発見、無事返還された。(AE)
08.03	中南米	外務省人事。坂場三男駐エジプト大使館公使を中南米局参事官に任命。(NK,IL)
08.03	アルゼンチン	日本・アルゼンチン修好100周年記念事業としてアルゼンチン・ミュージック・フェスティバルが開催された。3日にはリト・ピターレ、フリヤ・センコ、4日にはスサーナ・リナルディが公演を行った。(YE,AE,IL)
08.05	ブラジル	日本在住のブラジル人女性が外国人であることを理由に宝石店を追い出されたとして、宝石店主らを相手取り損害賠償を求める裁判をおこした。「人種差別撤廃条約」に基づく訴訟は初。(YU)
08.06	ブラジル	東洋エンジニアリングが、ブラジルの国営石油会社ペトロプラスから天然ガス輸送用のコンプレッサー設備を50億円で受注。東洋エンジニアリングは7月に国内のエンジニアリング会社として初めて現地法人を設立したばかり。(NS)
08.07	アルゼンチン	アルゼンチン・folkloreを代表する作曲家・ピアノ奏者アリエル・ラミレスが初来日、自作の「ミサ・クリオージャ」を共演者と共に演奏した。(LA)
08.19	ブラジル	川崎重工業は丸紅と共同で、ブラジルのアミソナス製鉄所から高炉向け炉頂圧回収発電設備を受注。受注金額は約15億円。(NS)
08.26	パナマ	東京港・大井埠頭に到着したパナマ船籍の貨物船の積荷から覚せい剤312キロが押収された。中国国籍の容疑者2名が逮捕された。(NE)
08.26	アルゼンチン	日本・アルゼンチン修好100周年を記念した「亜国・日本'98年展」がアルゼンチン・ブエノスアイレスで開催された。(AE)

09.01	キューバ	キューバで日本人移民100周年記念行事が各地で開催。(9日) (IL)
09.01	中南米	外務省人事。阿部知之在シカゴ総領事を中南米局長に任命。 (YE,AE,NE)
09.01	キューバ	キューバ政府によるキューバへの日系移民到着100周年を記念する 公式行事がスタート。囲碁大会、黒沼ユリ子さんのコンサート、 日本映画の上映、記念切手の発行などが行われた。(YE,NE)
09.01	キューバ	キューバの対日民間債務問題で、債権企業28社が個別のリスケ ジュール(債務繰り延べ)合意文書に調印。(NK,NE)
09.01	メキシコ	商船三井がメキシコ・シティーに集荷・陸送手配の現地法人、三 井O.S.K.ラインズ・デ・メキシコS.A.デ・C.V.を設立、営業を開 始すると発表。北米自由貿易協定発効後、同国での輸出入増加が 理由。(NS)
09.03	ブラジル	警視庁は本年度上半期の来日外国人の犯罪状況を発表、ブラジル 人の犯罪が昨年同期に比べ3倍の1502件に増加していることを指摘 した。(NE)
09.08	ベネズエラ	外務省人事。國安正昭特命大使を駐ベネズエラ大使に任命。 (YE,AE,IL)
09.10	メキシコ	外務省人事。田中克之大臣官房付を駐メキシコ大使に任命。 (YE,AE,NE,IL)
09.14	キューバ	キューバ、日本両政府はキューバの公的債務問題について12年ぶ りに交渉を再開することを決定。日本の民間企業との間で債務繰 り延べが合意したのを受けたもの。(NE)
09.16	エクアドル	東京都はエルニーニョ現象の影響によって大雨の被害が出ている エクアドルに対して、不要になった援助物資を援助することを発 表。(YU)
09.16	ブラジル	観光地イグアスの滝を訪れていた日本人観光客が誤って国立公園 内のホテルの展望台から屋上に転落、死亡した。(YE,AE)
09.16	ブラジル	NTTドコモと伊藤忠商事がブラジルの携帯電話会社に出資するこ とを正式に発表。(NK,NS)
09.16	メキシコ	メキシコ現地法人の日本人社員がメキシコ市とトルーカ市の道路 で当て逃げされ死亡。(AE)
09.18	ブラジル	自動車会社のトヨタがブラジルで乗用車カローラの生産を開始。 生産規模は年間15000台。(NE)
09.18	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴの人気楽団、ファン・ダリエソ楽団が来 日公演を全国で開始。指揮はカルロス・ラサリ。(LA)
09.19	ペルー	ペルーのアマゾン地域で1997年10月に殺害された早稲田大学探検 部員2名の慰霊碑の除幕式がイキトスで行われた。(NE)
09.21	ペルー	外務省人事。長崎輝章総理府国際協力本部事務局参事官を在ペ ルー日本国大使館参事官兼在リマ総領事に任命。(YU,IL)
09.21	エクアドル	エクアドル領ガラパゴス諸島で、日本の冒険家堀江謙一さんの名 前と堀江さん愛用のソーラー・ボートの名前をつけた岬と小島の 命名式が行われた。(NE)

09.25	アルゼンチン	秋篠宮ご夫妻が「日本・アルゼンチン修好100周年記念式典」などに出席のため、アルゼンチンへ出発。10月9日に帰国。(AE,NK,NE)
09.29	ガイアナ	外務省人事。國安正昭駐ベネズエラ大使を兼駐ガイアナ大使に任命。(YE,IL)
09.29	ベリーズ	外務省人事。田中克之駐メキシコ大使を兼駐ベリーズ大使に任命。(YE,IL)
10.06	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴのノルベルト・ラモス楽団の東京公演が行われた。(YE,LA)
10.06	メキシコ	メキシコ修好110周年を記念して、メキシコ・シティで日墨経済協カシンポジウムが開催された。(NK)
10.07	ペルー	ペルーから国際郵便で発送された工芸品に隠されたコカイン約3キロが発見され、受け取った中国人を逮捕した。(NE)
10.08	ブラジル 南米	第3回日本・メルコスール高級事務レベル協議がブラジリアで開催された。(IL)
10.09	アルゼンチン	秋篠宮ご夫妻がアルゼンチンから帰国。(NK)
10.10	コロンビア	外務省人事。平松和子在連合王国日本国大使館参事官を在コロンビア日本国大使館参事官に任命。(IL)
10.13	ブラジル	ブラジル北部のアマゾン川上流で取材中のテレビ朝日のスタッフらの乗った小型ボートが転覆、現地雇用の日系ブラジル人助手が死亡した。(NE)
10.14	チリ	南米チリで発見された1500年前のヒトのミイラから日本の九州の住民が持っているウイルスと類似したウイルスが発見されたと日本の共同研究チームが発表。(YU)
10.16	ドミニカ共和国	1950年代に日本政府の募集に応じてドミニカ共和国に移住した日本人移民が、土地問題に関して政府に謝罪と補償を求めるため来日。(AE)
10.19	アルゼンチン	吉富製薬がアルゼンチンで抗がん剤使用に伴う吐き気を抑える制吐剤を現地医薬品メーカーを通じて発売。(NS)
10.21	アルゼンチン	東京池袋で、日本アルゼンチン修好100周年を記念したアルゼンチン・フィエスタが開催された。写真展、物産展、ミニ・コンサートなどが開催された。(LA)
10.22	ブラジル	ブラジルのペドロ・ルイス&ア・パレーチが初来日公演を行う。ゲストにマルコス・スザーノ、宮沢和史など。(LA)
10.23	コロンビア	コロンビア政府は、左翼ゲリラコロンビア革命軍(FARC)に日本人志村昭郎さんが身代金目的で誘拐され、人質になっていることを発表。(YU,NK)
11.02	ブラジル	外務省人事。鈴木勝也駐ベトナム大使を駐ブラジル大使に任命。(YE,NE,IL)
11.03	南米	日本サッカー協会が来年6月開催予定の南米選手権に日本代表を参加させる方針を決定。(YU,AH)

11.03	ペルー	ふるさと渋谷フェスティバルの駐日ペルー大使館のコーナーでアンデスの主食穀物キヌアが紹介された。(YU)
11.03	パラグアイ ブラジル メキシコ	本年度の秋の叙勲受章者が発表され、外国人ではパラグアイ人、メキシコ人各1名、ブラジル3名が受章、在外邦人ではメキシコ在住者1名とブラジル在住者6名が受章した。(AH,NK)
11.06	ドミニカ共和国	日米野球出場のため、米大リーグで活躍するサミー・ソーサ選手が来日。祖国ドミニカのハリケーン被害のための募金活動も行った。(YE)
11.06	キューバ	キューバ「レボルシオン」紙元写真部員アルベルト・コルダ氏の写真展「チェ・ゲバラとその真実」が開催。「ゲリラ・ヒーロー」の名称で世界的に知られるチェ・ゲバラのオリジナル写真も含まれていた。(YE)
11.06	キューバ	駐キューバ日本大使館が食料不足に悩むキューバにコメの購入費として約860万ドルの無償資金援助を行うことを発表。(YE)
11.10	カリブ地域	第8回日本・カリブ協議が東京で行われた。(IL)
11.11	ペルー	アルベルト・フジモリ大統領がクアラルンプールで行われるアジア太平洋経済協力会議出席の途中、非公式に日本に立ち寄り、記者会見でペルーの農産物を自らPRした。(YU,NS)
11.11	ホンデュラス	町村外務政務次官がハリケーンで被害を受けたホンデュラスを訪問・視察。(YU)
11.12	ニカラグア	日本政府はニカラグアのハリケーン災害に対して国際緊急援助隊を派遣した。(AH,NK,IL)
11.12	バルバドス	ピーター・ダグラス・ローリー駐日バルバドス大使が着任。(IL)
11.13	ホンデュラス	日本政府はホンデュラスのハリケーン災害に対する国際緊急援助隊を派遣した。(AE,NK,NE,IL)
11.13	ブラジル	国際通貨基金(IMF)がブラジルに対して緊急融資を行う計画が発表された。総額415億ドルのうち、10億ドル程度を日本が負担する。(YU,YE,AE)
11.13	メキシコ	エルネスト・セディージョ・メキシコ大統領が来日。小淵首相らと会談を行った。(YU)
11.15	ホンデュラス	ハリケーンで大きな被害を受けたホンデュラス支援のため、日本の自衛隊が到着。医療などの救援活動を行った。12月5日に帰国。(YU,YE)
11.19	ペルー	金属鉱業事業団と国際協力事業団はペルー東部ウルバンバ川下流域で金属鉱物資源の広域調査を実施すると発表。ペルーのエネルギー鉱山省との間で実施細則に調印した。(NS)
11.25	コロンビア	日本の警視庁は、米国・韓国の捜査当局の要請にしたがって、泳がせ捜査でコロンビア人1名を麻薬特例法違反で逮捕した。3国の協力による泳がせ捜査での逮捕は初めて。(NE)
11.27	ブラジル	ブラジルのランブレイア外相が来日、小淵首相と会談を行った。(YU,AH)

11.30	メキシコ	メキシコの郷土楽団マリアッチの名門、マリアッチ・バルガス・デ・テカリトランが民族舞踊団と共に来日、東京公演を行った。(AE,LA)
12.01	アルゼンチン	カルロス・メネム・アルゼンチン大統領が訪日した。天皇・皇后両陛下との会見、宮中晩餐会などが行われた。(-4日)(YU, YE, AH, AE, NK, NE, IL)
12.01	メキシコ	日本・メキシコ修好条約110周年およびメキシコ大使館開設100周年を記念し、大使館のある千代田区にガストン・デ・ビベスの油絵が記念として贈られた。(YU)
12.02	アルゼンチン	日本・アルゼンチン修好100周年記念式典が東京で開催された。(IL)
12.02	アルゼンチン	日本・アルゼンチンの修好100周年を記念した80円切手が発行された。図案はタンゴを踊る男女のペア。(YU)
12.03	アルゼンチン	日本・アルゼンチン修好100周年を記念して「アルゼンチン経済セミナー」が東京・日経ホールで実施された。(NK, NS)
12.08	ホンデュラス ニカラグア	大型ハリケーンの被害に遭ったニカラグアとホンデュラスで医療活動を行っていたアジア意医師連絡協議会の医療チームが帰国。(NE)
12.09	中南米	平成10年度中南米大使会議が東京の外務省で開催された。(IL)
12.10	アルゼンチン	本田技研工業がアルゼンチンに現地法人を設立したと発表。業務の開始は99年1月の予定で、四輪車と自動車部品を販売する予定。(NS)
12.13	ペルー	民間のボランティア・グループ「ペルー・日本を結ぶ会」の招きで民族音楽を演奏するグループ「クシヤクタ」が各地でコンサートを行った。通算6度目の来日。(YU)
12.14	アルゼンチン チリ	日本の本田技研工業がチリに現地資本との合併で販売会社を設立することを発表。業務の開始は99年1月の予定。(YU, NS)
12.19	ボリビア	東京税関はボリビアから国際郵便で届いた小包に入っていた人形の腹の中からコカイン約1キロを押収、受け取った日本在住のブラジル人女性とボリビア人女性が逮捕された。(YE)

(以上164項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞・雑誌の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

雑誌名	
ラティーナ	LA
ラテン・アメリカ時報	IL

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1999年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 22(2)
Issue Date	2001-02-13
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9485
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1999年－

月 日	国名	記事
01 . 06	アルゼンチン	胃がんを克服した日本人が南米最高峰のアコンカグアに登頂成功。7000メートル級に登頂したガン患者は日本人では初めて。(AH)
01 . 07	中南米	ワシントンの連邦請求裁判所が、第二次大戦中日本との捕虜交換要員として中南米から米国に強制収容した日系人に対する補償問題で、前年6月の合意に基づいた大統領の謝罪と補償金の支払いを最終承認した。(AE)
01 . 11	ブラジル	日本体育研究所付属日本体育学会がブラジルのサッカーチーム、クルゼイロと提携し、石川県に「クルゼイロ・ジャパンFC」を設立することを発表。(AH)
01 . 12	アルゼンチン	日本人5人を含む登山隊7人がアンデス山脈の最高峰アコンカグア登頂に成功後の下山中、静岡市の男性1人が体調不良を起こし、そのまま死亡した。(YE)
01 . 16	ペルー	ペルー国家警察テロ対策本部が、1991年7月リマ北部ワラルで国際協力事業団派遣の日本人農業技師が殺害された事件に関与した疑いで、左翼ゲリラ、センデロ・ルミノソのメンバー4人を逮捕した。(AH)
01 . 20	アルゼンチン	現代タンゴのモサリーニ＝アントニオ・アグリ五重奏団が来日公演を行った。前年秋にアントニオ・アグリが急逝したため、息子のパブロ・アグリが代役を務めた。10月には「ブエノスアイレス・タンゴ五重奏団」と改称して再来日。(YE,LA)
01 . 22	ブラジル	日興証券は、ブラジルのマルカ銀行と共同出資する投資顧問会社が、通貨レアルの切り上げに伴って大きな損失を出したという社告を出した件について、事実誤認であると否定した。(AH)
01 . 25	ブラジル	全日本空輸がヴァリグ・ブラジル航空と3月末から日本-ブラジル路線で共同運航を開始することを発表。これによりヴァリグの提携先は日航から全日空に切り替わった。(YU,AH)
01 . 27	コロンビア	コロンビア中西部で起きた大地震の被災者救援のため、日本から国際緊急援助隊・救助チームが到着。救援物資と無償資金協力も行われた。(YU,YE,AH,AE)
01 . 30	ブラジル	静岡県浜岡町の県道で起こった交通事故で日系ブラジル人4名が死亡した。(AE)
02 . 01	メキシコ	松下電池工業が、メキシコ松下電池で小型シール鉛蓄電池の生産を始めたと発表。北米市場向けに販売を始めた。(NS)
02 . 03	ブラジル	伊藤忠商事はブラジルの穀物会社エクシムコープの株式の51%を取得し経営権を得たと発表。エクシムコープは大豆関連の輸出ではブラジルで第3位の会社。(AH)
02 . 04	ブラジル	アマゾン川流域の漁民3人に水俣病とみられる有機水銀中毒症状が出ていることを日本の研究者が発表。同川地域での水俣病患者の確認は初めて。(YE,AH,AE)

02. 09	パナマ	太平洋で転覆し、乗組員が遭難したマグロはえ縄漁船新生丸の衝突事故に関して、第三管区海上保安部は衝突した相手がパナマ船籍のケミカルタンカーKAEDE号であると特定したと発表。(AE)
02. 16	アルゼンチン	カルロス・ブオノ・タンゴ楽団が来日、全国各地で公演を行なった。(IL,LA)
02. 21	アルゼンチン	クラシックの高名なバイオリニスト、ギドン・クレーメルが現代タンゴのアストル・ピアソラが作曲したタンゴ・オペリータ「ブエノスアイレスのマリア」を引っさげ来日。アルゼンチンから歌手のフリャ・センコ、ホセ・アンヘル・トレジェス、作詞者のオラシオ・フェレールも参加した。(YE,AE,LA)
02. 22	キューバ	キューバのロバイナ外相が来日、高村外相と会談した。(YU,AH)
02. 25	コロンビア	前年9月にコロンビア左翼ゲリラに誘拐されていた元山梨県議で農場主の志村昭郎さんが首都サンタフェデボゴタで解放された。(YU,YE,AH,AE)
03. 02	グアテマラ	外務省人事。浦辺彬メルボルン総領事を駐グアテマラ大使に任命。(YE,AE,IL)
03. 02	チリ	外務省人事。成田右文大臣官房をチリ大使に任命。(YE,AE,IL)
03. 02	アルゼンチン	ラテン・アメリカ協会、国際交流基金などの共催により、日本アルゼンチン修好100周年記念セミナーが開催された。(IL)
03. 05	ブラジル	外務省人事。佐々木肇総合外交政策局国連行政課企画官を在クリチバ総領事に任命。(IL)
03. 06	カリブ地域	カリブ共同体・共同市場がスリナムで首脳会議を開き、フランスから高レベル放射性廃棄物を積んで出港し、パナマ湾を經由して日本に向かう予定の英国の輸送船の安全性について「深い憂慮」を表明、核廃棄物船の運航を中止するよう求めた。(AH)
03. 10	メキシコ	グリーンピースとメキシコの環境保護団体は、同国北西部の南バハカリフォルニア州でウミガメが大量死したのはメキシコ政府と三菱商事の合弁企業、塩輸出社(ESSA)の排水によるものだと、環境破壊の容疑で告発した。(AH)
03. 10	コロンビア	カルロス・リカルド・グティエレス氏が駐日コロンビア大使として着任。(IL)
03. 10	ベリーズ メキシコ	水上正史中南米局中南米第一課長を駐メキシコ大使館兼ベリーズ大使館参事官に任命。(IL)
03. 15	エクアドル	エクアドルのアヤラ外相が来日。(IL)
03. 23	中南米	外務省人事。越川和彦中南米局中南米第二課長を同第一課長に任命。(IL,NK)
03. 23	中南米	山田彰経済局国際機関第1課サービス貿易室長を中南米局中南米第二課長に任命。(IL,NK)
03. 24	メキシコ	エルミノオ・ブランコ商工振興相が来日、日本政府との間で自由貿易協定の締結を検討していることを明らかにした。(YU,AH)

03. 31	ブラジル	サッカー国際親善試合、キリンビバレッジ'99で、ブラジルが日本に2-0で快勝。(YU)
04. 01	エクアドル	エクアドルから大量のコカイン密輸を企てたとして県警察薬物対策課が2名の日本人を逮捕、1名を指名手配した。前々年エクアドルで逮捕された日本人の供述がきっかけとなった。(AH)
04. 06	ペルー エクアドル	日本政府はペルーとエクアドル国境地域に埋設されている地雷除去を推進するための国連開発計画に対し、61万ドルの緊急無償融資を行うことを決定。(YE)
04. 09	ペルー	1995年にペルー南部の山中で発見され、日本各地で展示中の約500年前の少女の冷凍ミイラについて、地元の住民が展示が地元の利益にならず、損傷の恐れがあるとして返還を要求した。(AE)
04. 10	ペルー	ペルー移民100周年を記念して、「悠久の大インカ展」が東京で開催された。(-5/19) (IL)
04. 11	メキシコ	メキシコ出身の米大リーグ選手、エルマー・デセンス投手が巨人で投げるために来日。(YU)
04. 13	エクアドル	東京港外贸定期船埠頭に入航したデンマーク船籍の貨物船の貨物倉から密航目的のエクアドル人3人の遺体が発見された。米国で上陸予定だったが、エクアドル出港時に間違っで日本で陸揚げ予定の貨物倉に潜伏したものとみられる。(YU,AH)
04. 14	メキシコ	帝人と米化学大手のデュボンが、メキシコの会社を通して北米・中南米におけるポリエステル繊維事業を統合することを発表。(NK)
04. 24	キューバ	キューバの人気バンド、チャランガ・アバネーラが初来日公演を行った。(IL,LA)
04. 28	ブラジル	警視庁は長野県在住のブラジル人工員2名を通貨偽造容疑で逮捕、偽造1万円札938枚を押収した。(YE)
05. 04	メキシコ	バハカリフォルニア州ティファアナで日本人会社員が2人組の若い男に銃で撃たれて死亡した。犯人はまもなく逮捕された。車強盗ではないかと推測されている。(YE,AE)
05. 06	アルゼンチン	ブロードウェイでロングランを記録したタンゴ・ショー「フォーエバータンゴ」が再来日公演を行った。(AH,IL,LA)
05. 08	コスタリカ	ラムサール条約第7回締約国会議が首都サンホセで行われるのを前に、非政府組織会議が行われ、日本からの参加者が名古屋の藤前千瀧の意義を強調した。その後の締約国会議でも東アジア諸国による干瀧の共同調査が提案された。(YU)
05. 10	コロンビア	アンドレス・バストラーナ大統領が来日、各方面と会見、日本からの支援を求めた。(YU,IL,NK)
05. 11	ブラジル	来日中のブラジル・クリチバ市のタニグチ市長が小淵首相を訪問。(YU)
05. 11	コロンビア	コロンビア大統領の訪日に合わせ、バランキージャ民族舞踊団が東京で初来日公演を行なった。(LA)

05. 13	メキシコ	三菱商事がメキシコで大型の火力発電所を建設、運営することを発表した。メキシコ連邦電力庁の海外企業への発注を受注したものの。(NK)
05. 18	エルサルバドル	外務省人事。湯沢三郎日本貿易振興会理事をエルサルバドル大使に任命。(YE,AE,IL)
05. 18	コロンビア	外務省人事。鹿野軍勝ポーランド総領事をコロンビア大使に任命。(YE,AE,IL)
05. 18	ペルー	アルベルト・フジモリ大統領が来日。天皇、皇后両陛下、小淵首相らと会談した。(・5/22) (YU,AH,IL)
05. 18	ペルー	郵政省が日本人のペルー移住100周年の記念切手を発行。図柄はマチュ・ピチュ遺跡、ナスカの地上絵、リヤマを組み合わせたもの。(YE)
05. 20	ブラジル	新日本製鉄がブラジルの大手高炉メーカー、ウジミナスとの合弁で行う自動車向け溶融亜鉛メッキ鋼板製造事業について、正式に合弁契約を結んだと発表。(AH)
05. 20	ペルー	日本輸出入銀行が、米州開発銀行と合わせ総額4億ドルをペルー政府向けに協調融資し、民間金融機関の資金繰りを支えるなどの理由で民間銀行と共同で50億円を貸し出すことを発表。(NK)
05. 26	ペルー ボリビア	紀宮さまが日本人移住100周年を記念する式典に出席するため、ペルー、ボリビア公式に訪問。(・7/9) (YE,AE,IL)
05. 30	ペルー	日本人のペルー移住100周年記念式典がリマ市内のラ・ウニオン競技場で行われた。(YE,AH,IL)
06. 03	ペルー	日本人のボリビア移住100周年記念式典が東部サンタクルスで行われた。(YE,AH,IL)
06. 05	ボリビア	ボリビア公式訪問中の紀宮さまに同行しているNHKの取材チームが自動車事故にあい、ボリビア人運転手が死亡、NHKリオデジャネイロ支局長など2名が重体となった。(YU,AH)
06. 09	アルゼンチン	アルゼンチン国立民族舞踊団が全国各地で初来日公演を行った。(IL,YE,LA)
06. 16	中南米	ニューヨークを拠点に活動する3人組ダーク・ラテン・グループが15人編成のバンドをしたがえ来日公演を行った。ラテン音楽を基調にしながらヒップホップやロックの要素も取り入れ、米国内・中南米でも人気を誇っている。(YE)
06. 16	コロンビア	警視庁保安課は組織売春の解明に向け一斉取締を開始、コロンビア人女性の売春斡旋の容疑でコロンビア人女性ブローカーを逮捕。(YU,AH)
06. 17	南米	茨城県石下町向石下の路上で日本人男性十数人と南米系とみられる外国人男性約十人が乱闘、日本人1人が死亡、2人が重軽傷を負った。(YU)
06. 19	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴの巨匠故オスバルド・ブグリエーセの愛娘、ベバ・ブグリエーセが初来日、自己の楽団で公演を行った。(YE,AH,IL,LA)

06. 23	キューバ ボリビア	キューバ革命の英雄チェ・ゲバラの部隊に参加し、ボリビアで戦死した日系人ゲリラ戦士フレディ・マイムラ氏の遺骨がキューバ調査団によって発見された。(YU)
06. 29	ボリビア	外務省人事。木本博之バルセロナ総領事をボリビア大使に任命。(YE,AE)
06. 29	パラグアイ ペルー	パラグアイで行われていたサッカー南米選手権の開幕戦で初出場の日本はペルーと対戦、2対3で敗退した。(YE)
06. 30	ブラジル	「日本とブラジルとの間の航空運送協定」の付属書の付表の修正に関する書簡交換がブラジルで行なわれた。(IL)
07. 01	アルゼンチン ブラジル	スウェーデンの自動車会社ボルボが日本の三菱自動車工業とアルゼンチン、ブラジルなど南米市場での小型トラックの共同生産を提案。三菱側は前向きに検討すると発表。(YU)
07. 01	アルゼンチン	東京・池袋の立教大学で生誕100年を迎えるホルヘ・ルイス・ボルヘスを記念し、夫人のマリア・コダマ氏を迎えたシンポジウムが開催された。(YE,AE)
07. 02	南米 ブラジル	外務省が2000年5月からの「在外投票制度」導入に向け受付を開始した在外選挙人名簿の登録申請状況を発表。申請が最も多かったのはブラジルのサンパウロ総領事館の1539人。(YU)
07. 02	パラグアイ	日本初参加となるサッカーの南米選手権(コパ・アメリカ)が開催され、日本は初戦のペルーに続き、開催国のパラグアイにも敗退。(YE)
07. 05	ボリビア パラグアイ	パラグアイで行われているサッカー南米選手権(コパ・アメリカ)1次リーグで日本とボリビアが対決、1対1で引き分けた。これにより日本はリーグA組最下位となり、決勝トーナメント進出を逃した。(YE)
07. 05	キューバ	キューバに生息する固有の生物を集めて展示した「キューバの生き物たち」展が東京で開催。(YE)
07. 09	アルゼンチン	三菱重工業が、アルゼンチンの独立発電事業会社(IPP)AESパラナから発電設備を受注した。受注額は100億円強。(NK)
07. 14	メキシコ	新日墨21世紀委員会第1回全体会合が東京の外務省で行なわれた。(IL)
07. 15	メキシコ	日本とメキシコの初めての次官級経済協議が外務省で開かれた。両国間の貿易・投資を中心に経済関係の強化に向けて意見交換が行われた。(YU,AH)
07. 15	メキシコ	日墨高級事務レベル経済協議が東京の外務省で行なわれた。(IL)
07. 15	ホンデュラス	ホンデュラスのフローレス外相が来日した。(IL)
07. 16	中南米	慶応大学医学部生らによる「国際医学研究会南米派遣団」が約7週間の日程で中南米4カ国に向けて出発。今回で22回目。(YE)
07. 16	南米	自動車メーカーの米フォードとマツダが、アンデス共同体内で完成車の相互OEM(相手先ブランドによる生産)を始めることを明らかにした。(AH)

07. 18	メキシコ	積水化学工業がメキシコ工場での自動車のフロントガラス用中間膜の増産を決定、中南米市場でのシェア工場を狙う。(NK)
07. 19	ウルグアイ	ラミロ・ピリス・バジョン氏が駐日ウルグアイ大使として着任。(IL)
07. 20	ガイアナ	ガイアナ政府は英国とフランスから日本へのプルトニウムとウランの混合酸化物(MOX)燃料輸送に「深い懸念」を表明する外務省声明を発表した。(AE)
07. 21	トリニダッド・トバゴ	外務省人事。山岸祥郎ムンバイ総領事をトリニダッド・トバゴ大使に任命。(YE,AE,IL)
07. 23	エルサルバドル	リカルド・パレデス・オンリオ氏が駐日エルサルバドル大使として着任。(IL)
07. 27	アルゼンチン	NKKが石油やガスの掘削に使われるシームレスパイプ事業で、アルゼンチンに本拠を置くDSTグループとの提携を検討していると発表。(YE)
07. 27	ペルー コロンビア	神奈川、宮城両県警は不法滞在中のペルー人やコロンビア人の依頼によって本国に不正に送金を行っていたとしてペルー国籍の日系3世を銀行法違反の疑いで逮捕した。(YU)
07. 30	ウルグアイ	外務省人事。稲川照芳ベルリン総領事をウルグアイ大使に任命した。(YE,AE,IL)
08. 08	ドミニカ共和国	日本政府の募集に応じて1950年代にドミニカ共和国に渡った日本人移住者の代表10人が、日本政府に対して約束された優良農地をいまだに取得していないとし、謝罪と補償を求めて来日した。(AH)
08. 09	ブラジル	伝統的なブラジル音楽を基調に斬新なサウンドを聴かせるマルコス・スザーノ・プロジェクトが来日公演を行った。(YE,LA)
08. 10	ブラジル	外務省人事。小島高明公正取引委員会事務総局官房審議官をサンパウロ総領事に任命。(IL)
08. 16	中南米	外務省人事。堀村隆彦在サンパウロ総領事を中南米局長に任命。(IL)
08. 23	ベネズエラ	ベネズエラ警察は、6月にカラカス近郊で発見された絞殺体が同国観光中に行方不明となったロンドン在住の日本人がである可能性が高いと発表。英国人の夫と、旅行に同行していた友人を殺人容疑で逮捕した。(YU)
08. 27	中南米	日本を代表するラテン・ボーカル・トリオ、トリオ・ロス・チカノスのメンバーで、トリオ解散後はソロ歌手として活動していた鳥居三郎氏が死去。享年66歳。(YU,AE)
08. 28	ブラジル	恒例の浅草サンバ・カーニバルが開催され、全国から36チーム、約3200人がパレードに参加した。本場ブラジルからの参加者もあった。(YU)
08. 28	ペルー	97年8月に死刑執行された永山則夫・元死刑囚の遺志を継いだ関係者により、リマ市内でストリート・チルドレン救済に取り組む民間組織「働く青少年の全国運動」への寄付金伝達式を兼ねた交流コンサートが行われた。(YU)

08. 30	中南米	第4回日本・中米フォーラムが東京の外務省で開催された。(IL)
09. 02	ブラジル	第8回日本ブラジル経済合同委員会が日本で開催された。(IL)
09. 03	中南米	「東アジア・ラテンアメリカ・フォーラム」の初の高級事務レベル協議が提唱国のシンガポールで開催。このフォーラムは日本を含むアジア諸国と中南米諸国の交流活性化を目的としている。(YU,NK)
09. 06	メキシコ	メキシコ政府は日本の要請に基づいて国営石油会社ペメックスを通じて朝鮮民主主義人民共和国に対し10万ドル分の原油を寄付することを承認した。(YE)
09. 09	アルゼンチン	資本提携関係にあるスズキと米ゼネラル・モーターズが、アルゼンチンで四輪車の共同生産を始めると発表。(YU,AH)
09. 13	アルゼンチン	元駐アルゼンチン大使だった齋木千九郎氏が死去。享年79歳。(YE,AE)
09. 13	ペルー	日本に滞在する日系ペルー人の依頼を受け、無免許で本国への送金を請け負う「地下銀行」を営んでいたとして、輸出入業社の事務所などを一斉捜査した。11月15日に社長らが書類送検された。(YE,YU,AE)
09. 14	コロンビア	NECと三井物産が共同でコロンビアの電話交換機設備を受注。メデジン市の28万回線分の最新鋭設備を納入する。契約額は約27億円。(NK)
09. 17	ペルー	神奈川県警薬物対策課と港北署はペルー人2名を約2キロのコカインを所持していたとして麻薬取締法違反の疑いで逮捕した。(YE)
09. 19	ペルー	ペルーへの日本人移住100周年を記念して、「NHKのど自慢」の公開収録がリマ市内のホールで行われた。出場者の大半は日系人とペルー在住の日本人だった。(YU)
09. 20	アルゼンチン	渡部和男在国連代表部参事官を在アルゼンチン日本国大使館参事官に任命。(IL)
09. 28	キューバ	来日中のキューバのロドリゲス・スポーツ庁長官が日本野球機構を訪問、キューバ野球チームの日本での五輪前合宿を要望し、協力を求めた。(AH)
10. 02	パラグアイ	元パラグアイ大使の種谷清三氏が死去。享年81歳。(YU,AH)
10. 05	カリブ地域	外務省人事。山岸祥郎トリニダッド・トバゴ大使を兼アンティグア・バーブーダ、グレナダ、セントビンセント・グレナディーン、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、ドミニカ、バルバドス大使に任命。(YE,AE)
10. 09	アルゼンチン	ノルベルト・ラモス五重奏団が歌手、ダンサーと共に全国各所で来日公演を行った。(IL,LA)
10. 13	ベネズエラ	ウーゴ・チャベス大統領が来日、小淵恵三首相らと会談した。(・10/15) (YU,IL)

10. 15	ボリビア	神奈川、静岡両県警が首都圏のマンションに忍び込んで仲間 盗品を売りさばいていたボリビア人窃盗グループを摘発、13名を逮 捕、3名の行方を追っている。被害総額は約2億円。(YE,AH)
10. 17	ペルー	三井物産が9月に分割民営化されたペルー国鉄の主要路線の経 営に参加したと発表。海外5社との新会社で。(AH)
10. 21	メキシコ	日墨投資協定予備的協議が東京の外務省で行なわれた。(IL)
10. 22	メキシコ	米投資信託会社のカルバート・グループなど投信15社が、三菱商 事などがメキシコで計画している大規模塩田建設に関して、顧客の 資金を三菱商事に投資しないことを明らかにした。塩田建設に反 対する環境団体の不買運動の影響。(AE)
10. 24	キューバ	大阪ドームで行われていた野球・4か国・地域国際大会でキューバ が優勝。日本は1勝1敗1引き分けで2位。(YU)
10. 26	グアテマラ	日本政府が、11月7日に実施されるグアテマラ大統領、副大統領、 国会議員などの選挙支援のため、6人からなる選挙監視団を派遣 することを決定した。(NE)
10. 29	キューバ	日本を代表するラテン・バンド、東京キューバン・ボーイズが楽団結 成50周年記念コンサートを行った。(YE,AE,IL,LA)
11. 03	中南米	秋の叙勲で在ラテンアメリカの邦人7名、ラテンアメリカ人3名が受 章。(AH)
11. 09	ベネズエラ	神戸製鋼の利益供与事件で、総務担当者がねん出した裏金の一部 がベネズエラ大統領選候補者の献金に充てられたことが発 覚。神戸製鋼は1987年にベネズエラに100%出資の製鉄関連会 社を設立している。23日から在日ベネズエラ大使館が調査を開始 した。(YU,AH,AE)
11. 17	ボリビア	元ボリビア大使藤本正雄氏が死去。享年89歳。(YU)
11. 18	エルサルバドル 中米	日米・中米大使会議がエルサルバドルで開催された。(IL)
11. 20	ブラジル	在日ブラジル人を対象にした同国の中学、高校の卒業検定試験 が横浜市、名古屋市、浜松市、群馬県大泉町の4会場で行われ た。ブラジルの卒業検定試験が国外で行われたのは初めて。(YE)
11. 22	キューバ	日本政府はキューバに対して初の文化無償協力を行うことを決 定、ハバナの外国投資・経済協力省で調印式が行われた。(YU)
11. 23	キューバ	ハバナの日本大使公邸で開かれた三塚元蔵相主催のレセプション に、フィデル・カストロ国家評議会議長が登場、訪問団一行と会 談した。(YU)
11. 25	メキシコ	繊維最大の東レが、合成繊維事業で北米自由貿易協定 (NAFTA)域内に進出する方針を発表。2000年代初めにメキシコ にポリエステル長繊維の織物工場を設立する計画。(AH)
11. 26	キューバ	キューバのクラシック・ギタリスト、マヌエル・バルエコが来日し、コン サートを行なった。(AE)

11 . 29	ブラジル	元ブラジルトヨタ現地邦人社長だった酒巻和男氏が死去。享年81歳。真珠湾攻撃で初めて米軍の捕虜になった日本人でもある。(YU,AE)
12 . 11	メキシコ	日産自動車と仏ルノーがメキシコでの事業協力策を発表。ルノーは日産のクエルナバカ工場で2車種を生産、86年に撤退したメキシコ市場に復帰する。(YU)
12 . 14	ペルー	参院外交・防衛委員会が1997年10月にペルーのアマゾン川で早大探検部の学生2名が陸軍兵士に殺害された事件に関しペルー政府が速やかに遺族に賠償するよう、日本政府が働きかけることを求める決議を採択した。(AH)
12 . 15	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴの若手グループ、セステート・スールが来日公演を行う。(YE,LA)
12 . 21	ブラジル	東洋エンジニアリング(TEC)とブラジルのセタール社の企業連合がブラジル向け天然ガス処理プラントとパイプラインを受注。受注総額は約670億円。(NK)
12 . 26	アルゼンチン	バンドネオンの巨匠、レオポルド・フェデリコ率いるオルケスタが来日公演を行った。(IL,LA)

(以上133項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞・雑誌の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

雑誌名	
ラティーナ	LA
ラテン・アメリカ時報	IL